

- 1 NVR ⇒ p1 ライブ / p2 チャンネルコントロール / p12 再生 / p13 バックアップ
- 2 Web ブラウザ ⇒ p15 ライブ / p17 再生 / p19 バックアップ
- 3 PC 用クライアントソフト ⇒ p21 インストール / p22 初期設定 / p23 デバイス登録 / p25 ライブ
p27 再生 / p28 バックアップ
- 4 モバイル App ⇒ p29 入手 / p29 初期設定 / p31 デバイス登録 / p34 ライブ / p43 再生
p47 ファイルマネージャー

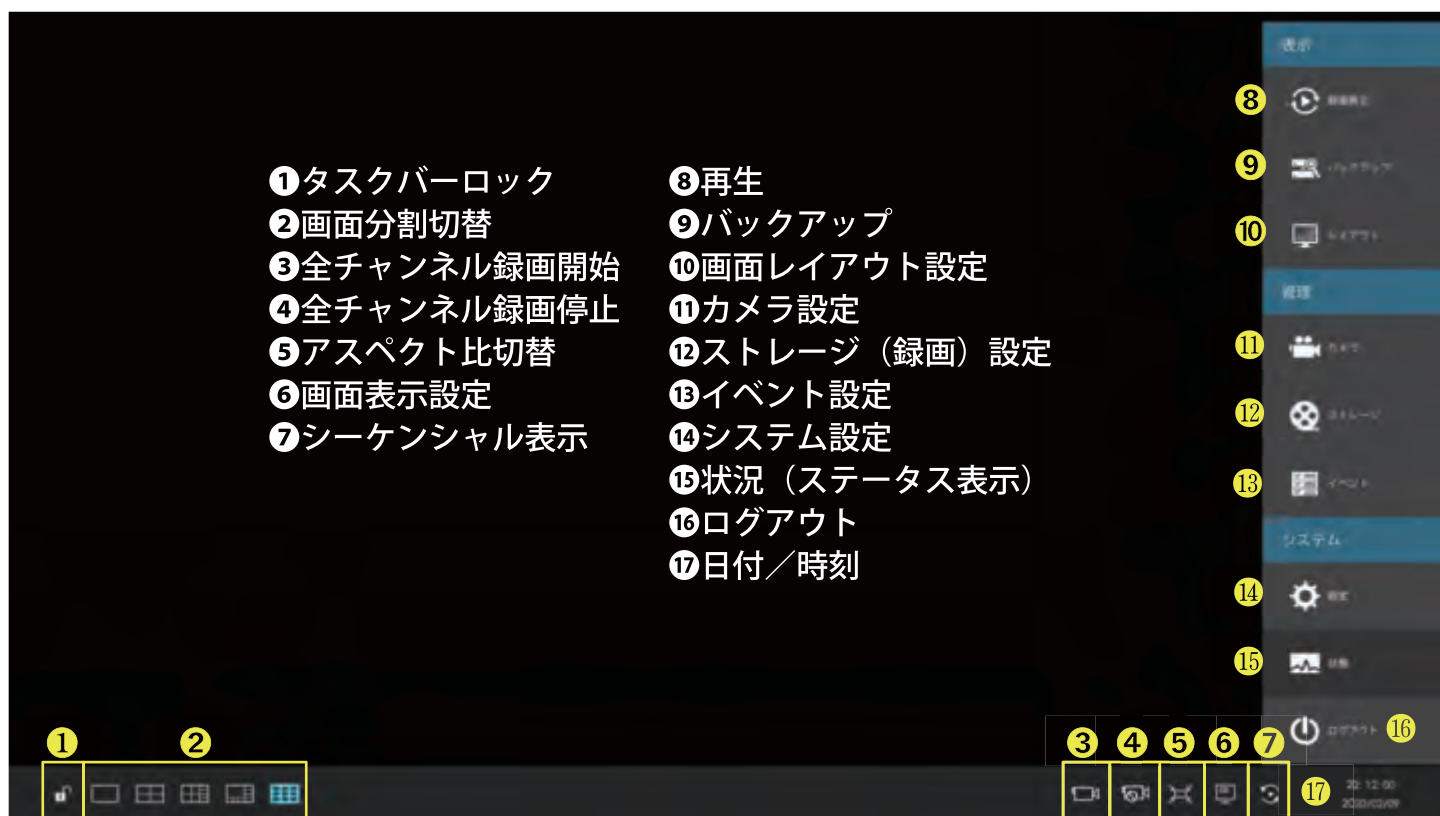
1 NVR

NVR に接続されているカメラの映像を **NVR 内の HDD に録画**している場合の説明です。
カメラ内部の microSD カード録画の説明ではありません。

NVR に **直接接続されたモニター**で映像を確認した場合の説明です。バックアップファイルの再生以外ではパソコンは使用しません。

ライブ

マウスカーソルをライブ画面の**下側**に移動すると**タスクバー**がポップアップされます
マウスカーソルをライブ画面の**右側**に移動すると**メインメニュー**がポップアップされます



チャンネルを**クリック**するとカメラ単位の**ツールメニュー**が表示されます
チャンネルを**ダブルクリック**すると **1 画面表示**に切り替わります。



- ①緊急録画開始
- ②ビデオ設定
- ③PTZ 操作
- ④アスペクト比切替
- ⑤音声 ON / OFF
- ⑥デジタルズーム
- ⑦スナップショット（静止画）
- ⑧インスタント（約 5 分前から）再生
- ⑨ツールを閉じる
- ⑩録画中インジケータ

メモ : FishYEY カメラ（ICS-H636-5/12）では **フィッシュアイモードアイコン**が表示されます

チャンネルコントロール

カメラと NVR の機能を十分に活かす為にチャンネル単位で以下の機能の操作を行う事が出来ます。

注意 基本的に NVR (MSI シリーズ) とネットワークカメラ (H600 シリーズ) の**純正同士の組み合わせ**により全ての機能を使用する事が出来ます。他社製品及び ONVIF カメラについては接続されるカメラの種類により動作が異なり、全てまたは一部の機能が利用できない場合があります。

弊社では他社製品及び ONVIF カメラに対するサポートは対象外とさせて頂いております。

① 緊急録画

緊急時に緊急録画のアイコンをクリックする事で**録画を素早く開始**します。

常時録画中に緊急録画を開始した場合、イベント録画と判断し再生時のタイムバーでは常時録画は**ブルー**で表示され、緊急録画が押された部分は**赤**で表されます。また常時録画を行っていない状態で緊急録画を開始した場合、イベント登録と判断され再生時のタイムバーは**赤**で表示されます。

注意 緊急録画は自動では停止しませんのでご注意ください。



常時録画 OFF
緊急録画 ON

常時録画 ON
緊急録画 ON

② スナップショット (静止画保存)

必要時に、スナップショットのアイコンをクリックする事で、**スナップショット (静止画)** を NVR 内のハードディスクに残す事が出来ます。



③ スナップショット (静止画) の再生

① ライブ映像の画面でマウスポインターを画面の右端に持って行くとメインメニューがポップアップされます。

メモ マウスを長時間使用していない場合、マウスは**スリープモード**になっています。左右どちらかのボタンを押し、スリープモードから復旧させて下さい。



② ポップアップされたメニューから **録画再生** をクリックして下さい



③ 再生ウィンドが表示されますので、右上の **録画再生** と書かれたプルダウンメニューをクリックし、**静止画再生** をクリックします。



- ④ 再生ウィンドが静止画検索モードに切り替わりますので、対象となるチャンネル（カメラ）にチェックを入れます。
- ⑤ 静止画を検索する開始日時と終了日時を設定します。通常は静止画検索ウィンドを開いた当日の0時から23時59分59秒が代入されていますので、必要に応じて内容を変更し最後に **検索** をクリックして下さい。
- ⑥ 条件に該当する静止画がリスト表示されます。日時を確認し右端の▶再生のアイコンをクリックすると静止画が大きく表示されます。



④ スナップショット（静止画）のバックアップ

① NVR の USB ポートに USB フラッシュメモリーを接続して下さい。

② 全項の「スナップショットの再生」で検索しバックアップを残したい静止画にチェックを入れます。

③ 右下の「**エクスポート**」または「**すべてエクスポート**」を押します。

※日本語フォントの関係上、ボタン内に文字が収まり切れず表示が確認しづらい場合があります。左側が**エクスポート**、右側が**すべてエクスポート**となります。

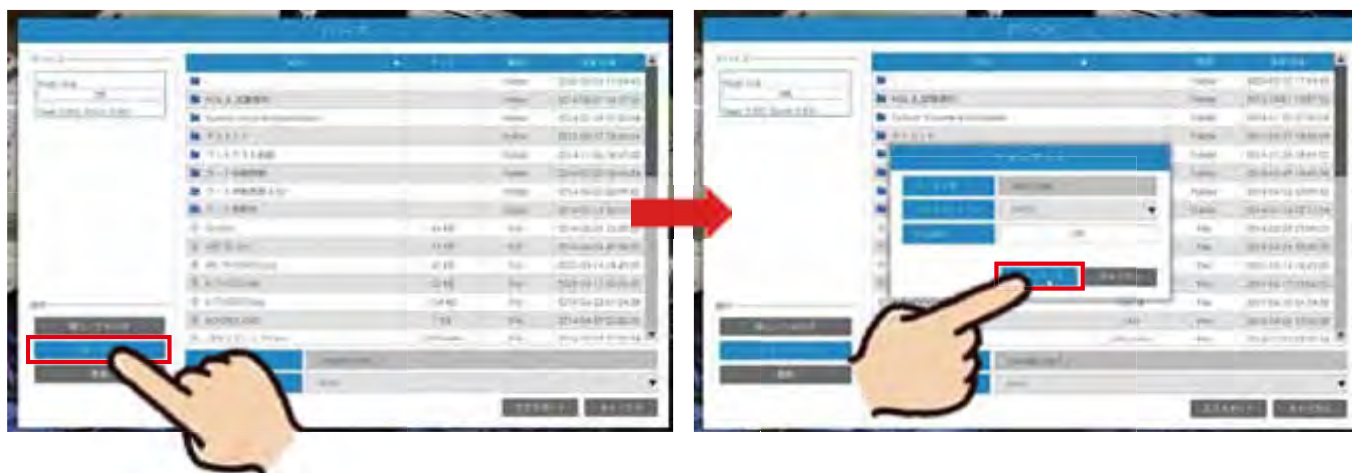


④ 接続されているデバイス（USB メモリー）の内容が表示されますので、「**フォーマット**」を押して下さい。

フォーマットメニューが表示されますので、そのまま「**フォーマット**」をクリックして下さい。

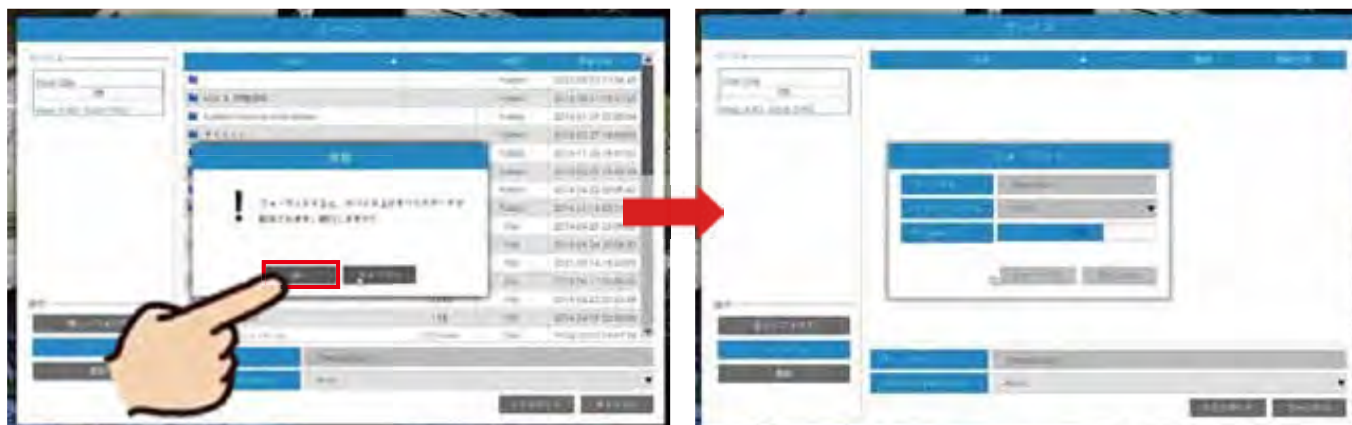
注意 USB メモリーは使用前に必ず本機でフォーマットを行い、空の状態のものをご利用下さい。

データ破損の可能性がありますので他のデータと共有したり、他のデバイスでフォーマットした物は使わないで下さい。

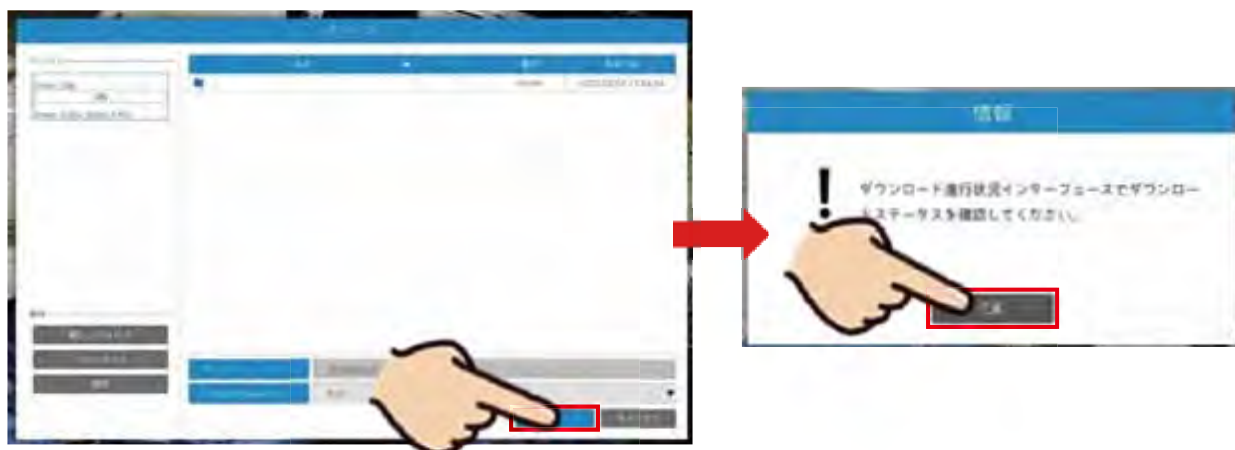


⑤ USB メモリー内のデータが全て消える事に関するメッセージが表示されますので、はいをクリックすると

フォーマットが始まります。USB メモリーの容量によってはフォーマットに数分かかる場合もありますので、そのままお待ち下さい。



- ⑥ **エクスポート** をクリックしバックアップを行います。バックアップ完了のメッセージが表示されますので、**OK** をクリックして下さい。



⑤ インスタント再生（簡易再生）

インスタント再生のアイコンをクリックする事で、**約5分前の映像から再生を開始**します。

注意 分割画面でインスタント再生を実行するとカメラやNVRの種類や容量によってインスタント再生が出来ない（リリース不足）が表示される場合があります。インスタント再生は**1画面表示**でご利用頂く事をお勧めいたします。



タイムバー

一時停止

インスタント再生終了

⑥ ストリーム切替

ストリーム切替のアイコンをクリックする事で、**強制的に表示ストリームを切替**ます。分割表示で解像度の大きい画質を目的とするチャンネル（カメラ）を左クリックし、チャンネルの上下にポップアップされるメニューから**S（サブストリーム）** または **M（メインストリーム）** をクリックします。



⑦ デジタルズーム

デジタルズームのアイコンをクリックする事で、**デジタル的なズームモード**に切り替割ります。マウスのホイールを回す事でズーム率は 100%（等倍）～1000%（10倍）、25%区切りで変化させる事が出来ます。デジタルズーム状態のまま視点を変える場合は、画像をマウスで**左ドラック**します。デジタルズームモードを終了する場合はマウスを**右クリック**します。



⑧ サイズ変更

サイズ変更のアイコンをクリックする事で、**画像の対比をオリジナルモードまたは標準モードを切り替える**事が出来ます。



オリジナルモードとは、表示される画像の解像度と NVR のチャンネルサイズに合わせ、NVR が自動で対比（アスペクト比）を調整します。上下左右の黒いスペースが少なくなります。カメラの種類や解像度の設定によっては被写体が横長になる場合があります。

標準モードとは、オリジナルモードに対しカメラから出力される純粋な解像度で表示する事が出来ます。被写体も横長になる事は有りませんが、上下左右の黒のスペースがオリジナルモードに比べ多く表示されてしまいます。

メモ デフォルトはオリジナルモードで、標準モードに切り替えた状態で NVR の再起動を行うとオリジナルモードに戻ります。表性的に標準モードのままにする事は出来ません。

⑨ スピーカー ON/OFF

スピーカー ON/OFF のアイコンをクリックする事で、**NVR の Audio OUT に接続されたスピーカーの ON/OFF を切り替え**ます。

注意 Audio OUT に対応した NVR にアンプ内蔵のスピーカーが接続されており、Audio 対応のカメラに外付けでマイクを接続しているまたは、マイク内蔵のカメラを使用している場合にのみに限ります。



⑩ マイク ON/OFF

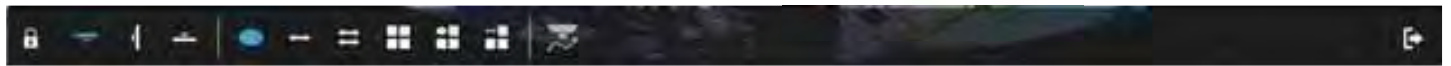
マイク ON/OFF のアイコンをクリックする事で、**NVR の Audio IN に接続された音源をカメラに接続されたスピーカーから流す ON/OFF を切り替え**ます。

注意 Audio IN に対応した NVR に音源（ライン入力またはマイク）が接続されており、Audio OUT 対応のカメラに外付けでスピーカーが接続されている場合にのみに限ります。



⑪ フィッシュアイモード

フィッシュアイモードのアイコンをクリックすることで、1画面表示で**フィッシュアイモード**に切り替わり、タスクバーの表示内容が変わります。



メモ フィッシュアイモードのアイコンが表示されていない場合、以下の手順で設定を行って下さい。

① メインメニューの **カメラ** をクリックします。



② 対象となるカメラの **編集** をクリックします。



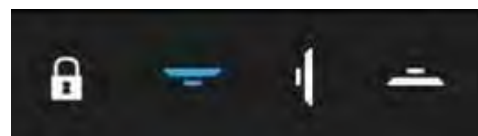
③ カメラの編集ウィンドが開きますので、転送モードが**バンドルストリームモード**になっている事をご確認下さい。マルチチャンネルモードになっている場合は、バンドルストリームモードに変更し **OK** をクリックし **戻る** でカメラの編集ウィンドからライブに戻して下さい。


バンドルストリームモードが選択されているにもかかわらず、フィッシュアイモードのアイコンが表示されない場合は一度マルチチャンネルモードを選択後 **OK** をクリックし、再びバンドルストリームモードを選択し **OK** をクリックし **戻る** でカメラの編集ウィンドからライブに戻して下さい。




設置位置切替

カメラの設置状態を変更できます。デフォルトでは**天井設置**他に壁面設置と卓上（テーブルの中央に置く）設置を選択する事が出来ます。



 タスクメニューのロック（表示状態を保ちます） クリックするとマウスが画面下に移動した際に自動でポップアップされます

 **天井取付設定** ⇒ カメラを**天井取付**た場合に選択します

 **壁面取付設定** ⇒ カメラを**壁面取付**た場合に選択します

 **フラット取付設定** ⇒ カメラを**フラット取付**た場合に選択します。テーブルの上などに置いた場合

表示パターンの切替

各アイコンをクリックする事で、表示パターンを切り替える事が出来ます。

- ① 表示パターンの切替には **NVR 内部での画像処理**の為、数秒の時間をがかかります。
- ② 最上位機種（MSI-N32-8/N64-8）では表示パターンがさらに増えます。
- ③ 選択されている**表示パターン**で録画は行われます。
- ④ 最上位機種（MSI-N32-8/N64-8）では FishEYE モードで録画された映像の表示パターンを**再生時に変更**する事が出来ます。
- ⑤ NVR 内部での仮想的な画像処理により表示パターンを作り出している為、イベント録画（モーション録画）は **FishEYE モードのみ対応**しています

 **FishEYE（フィッシュアイ）モード** ⇒ 360° 円形で表示されます。 **イベント録画に対応**しています。

 **パノラマモード** ⇒ 360° の映像を 1 画面内に横長（パノラマ）で表示。主に壁面取付では 180° カメラとしても利用可能



天井取付設定でのワイドモード



壁面取付設定でのワイドモード



画面の上部に PTZ アイコンが表示されます。

クリックすると PTZ コントローラーが表示され、カメラアングルを左右に回す事が出来ます。但し上下及び壁面取付設定の場合は利用できません。

最上位機種 (MSI-N32-8/N64-8) では PTZ コントロールではなく、マウス操作で視点を変える事が出来ます。



2分割 180° ワイドモード ⇒ 1画面に対し 180° ワイドで 2分割で表示します。天井取付の場合にのみ対応



またこの表示パターンでも画面上部に PTZ アイコンが表示されます。

クリックすると PTZ コントローラーが表示され、カメラアングルを 2画面同時に左右に回す事が出来ます。

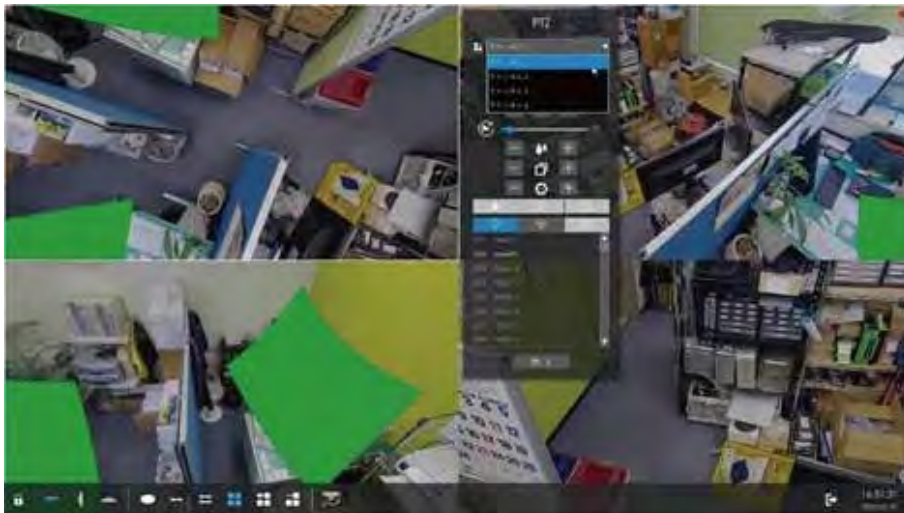
但し上下は利用できません。最上位機種 (MSI-N32-8/N64-8) では PTZ コントロールではなく、マウス操作で視点を変える事が出来ます。



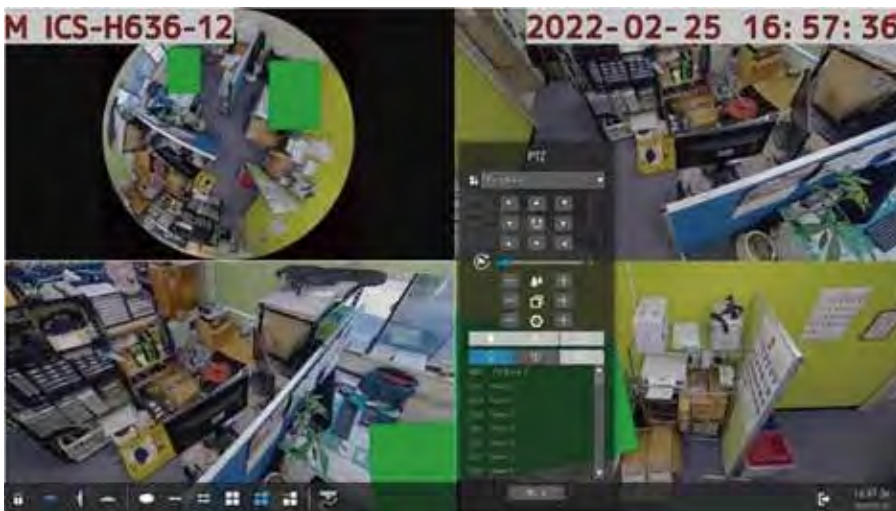
4 分割表示



各分割画面をマウスで選択すると、選択画面の上部に PTZ アイコンが表示されます。クリックすると PTZ コントローラーが表示され、カメラアングルを 4 分割それぞれ変更する事が出来ます。PTZ コントローラー上部で視点を変更したいチャンネルを選択して下さい。最上位機種（MSI-N32-8/N64-8）では PTZ コントロールではなく、マウス操作で視点を定める事が出来ます。



FishEYE + 3 分割 ⇒ チャンネル 1 に FishEYE モード（円形 360°）、チャンネル 2～4 に分割映像を配置します。また FishEYE モード以外のチャンネルは PTZ コントロールから視点を定める事が出来ます。
※配置を変更する事は出来ません。



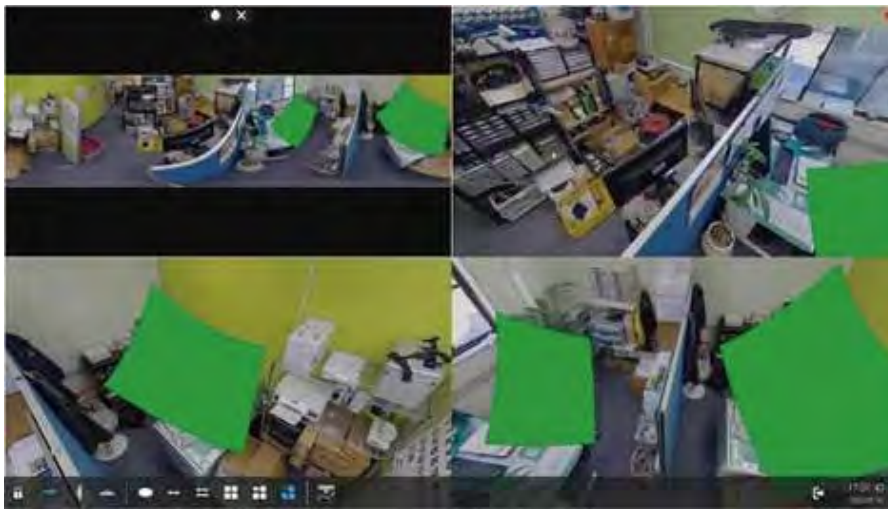
FishEYE 以外の各分割画面をマウスで選択すると、選択画面の上部に PTZ アイコンが表示されます。クリックすると PTZ コントローラーが表示され、カメラアングルを 3 分割それぞれ変更する事が出来ます。PTZ コントローラー上部で視点を定めるチャンネルを選択して下さい。チャンネル 1 は FishEYE ですので選択する事は出来ません。最上位機種（MSI-N32-8/N64-8）では PTZ コントロールではなく、マウス操作で視点を定める事が出来ます。



360° パノラマ + 3 分割 ⇒ チャンネル 1 に 360° パノラマ、チャンネル 2～4 に分割映像を配置します。またチャンネル単位で PTZ コントロールから視点を定める事が出来ます。
※配置を変更する事は出来ません。



各分割画面をマウスで選択すると、選択画面の上部に PTZ アイコンが表示されます。クリックすると PTZ コントローラーが表示され、カメラアングルをそれぞれ変更する事が出来ます。PTZ コントローラー上部で視点を定めるチャンネルを選択して下さい。チャンネル 1 は 360° パノラマの為、左右にしか移動させる事が出来ません。最上位機種（MSI-N32-8/N64-8）では PTZ コントロールではなく、マウス操作で視点を定める事が出来ます。



12 ビデオ設定

チャンネル（カメラ）単位で画像の明るさ、コントラスト、彩度、シャープネス、2D DNR、3D DNR を設定する事が出来ます。

デフォルトでは全て数値が 50 に設定されています。設定値はお好みです。



13 PTZ

PTZ カメラ、M シリーズのカメラ及び ICS-H363 の FishEYE モード以外で PTZ コントローラーが表示され PTZ 操作を行う事が出来ます。



14 アラーム出力

NVR 及び Alarm 対応のカメラの Alarm 出力設定がされている場合、このアイコンにより Alarm 出力の ON/OFF を行います。



15 閉じる

コントロールメニューを閉じます。



再生

- ① マウスカーソルをライブ画面の**右側**に移動し、ポップアップ表示される**メインメニュー**から**録画再生**をクリックします。



- ② 画面がライブビューからプレビュー（再生モード）に切り替わりますので、**再生したいカメラ（チャンネル）にチェック**を入れます。

本機では録画と同時再生出来るカメラ（チャンネル）の数は、NVRのモデルやカメラの台数及び設定（解像度、fps、bit Late、録画モードなど）により、自動的に調整されます。その為、以上の条件から全チャンネル録画同時再生は出来ない場合があります。

- ③ 目的の**日付をカレンダーから選択**します。カレンダーをクリック（日付指定）しなかった場合、カメラ（チャンネル）にチェックを入れた段階で、そのカメラの保存された録画データの**最も新しい日の、最も古い時間から再生が開始**されます。
- ④ タイムバーのデフォルト表示の場合、午前0時(00:00)から午後0時(24:00)までが1画面に1時間単位で収まるように表示されています。タイムバーの右上にある+/-のアイコンをクリックするか、またはタイムバーにマウスカーソルを合わせマウスのホイールを回す事でタイムスケールを広げる事が出来ます。
再生を開始したい時間帯をクリックすると、**再生が開始**されます。



- ⑤ ライブビューに戻る場合は、**ライブ表示** をクリックします。

バックアップ

目的の映像データを抜き取る（バックアップ）を行うには、様々な条件から目的のシーンを探し当て保存媒体（USB 接続の外付け HDD や SSD、USB メモリーなど）に保存します。

- ① NVR に録画媒体となる USB 接続の外付け HDD や SSD、USB メモリーを接続します。
- ② マウスカーソルをライブ画面の**右側**に移動し、ポップアップ表示される**メインメニュー**から**バックアップ**をクリックします。



- ③ 普通バックアップウィンドが開きますので、対象のカメラのチャンネルにチェックを入れます。全てのカメラにチェックを入れたい場合は「すべて」にチェックを入れます。
- ④ バックアップ開始の日付と時刻、終了の日付と時刻を入力して **検索** をクリックします。

複数日に渡ってバックアップを取りたい場合、データ管理の面やデータ破損のリスクを考慮した上で、1時間単位でのバックアップをお勧めします。



- ⑤ 条件に該当する内容が表示されます。全てのファイルをバックアップする場合は全てにチェックを入れ **バックアップ** をクリックするか、**すべてバックアップ** をクリックします。**時間帯**を確認したり**再生アイコン**を押す事で、映像を確認する事が出来ます。



⑥ **フォーマット** をクリックし、USB 接続された外付け HDD、SSD または USB メモリーのフォーマット（初期化）を行います。

- ・他のデータとの混在や上書きは避けて頂き、毎回フォーマットをお勧めします。
- ・フォーマットの際にファイルシステムを問われます。通常は **FAT32** を選択して下さい。

⑦ フォーマット完了後、**ビデオファイルフォーマット** (Video File Format) をクリックし、再生環境に合わせ、**MP4** または **AVI** を選択し、**エクスポート** をクリックします。



バックアップの再生

バックアップしたファイルを再生するには **PC (パソコン) と再生ソフトが必要**です。再生ソフトの条件として、バックアップの際に選択頂いた「ビデオファイルフォーマット」の種類により、以下ようになります。最も適した方法で再生を行って下さい。

MP4 でバックアップ

Windows / Mac 共に **ユーザー様側で再生ソフト (有料版 / 無料版) をご用意**頂く必要がございます。標準でインストールされているプレイヤーソフトでは互換性の問題から再生できない可能性があります。

AVI でバックアップ

◆Windows の場合

- ① 標準でインストールされている WMP (Microsoft Media Player) に Microsoft Store で入手できる **有料の Codec ファイル** をインストール
- ② インターネットからフリーのプレイヤーソフト **「GOM Player」** を入手

◆Windows / Mac 共に

- ③ 付属の CD-ROM に収録されている **「VLC Player」** をインストール

- ・MP4 再生ソフトをインストールしても互換性から、再生出来ない可能性もあります。
- ・1つのバックアップファイルの容量は、メモリーのフォーマット仕様上 2GB 以下となります。
- ・著作権、使用許諾契約及び関連法令上、GOM Player を CD-ROM に収録し本機に付属する事は出来ません。ご了承下さい。
- ・GOM Player の使用及び VLC Player の入手と使用には、PC がインターネットに接続している必要があります。
- ・Microsoft Store では、ユーザー様名義のクレジットカード決済となります。
- ・Codec ファイルの購入とインストール、GOM Player のダウンロードとインストール、VLC Player のインストール及び全ての使用は、ユーザー様の責任の下で行って下さい。これらの作業に伴う損害、障害、保証は弊社では責任を持ちません。

2 Web ブラウザ

本システムで推奨されている Web ブラウザは、**Microsoft 社の Internet Explorer Ver.11 (IE) 以降**です。Google Chrome / Safari には一部の機能が対応しておりません。また Microsoft Edge は非対応です。Web ブラウザを用いる事で、PC に専用のソフトをインストールする事無く、全ての PC に標準でインストールされている Web ブラウザを利用する事ができます。但しブラウザでは**最低限の操作**を目的で開発されている為、メーカー独自の機能には対応していません。

- Web ブラウザでの常時接続には対応していません。
- Windows 10 のデフォルト Web ブラウザは Microsoft Edge です。IE に変更する場合は Windows の設定を行って下さい。

カメラに Web ブラウザでアクセスした場合、表示される映像はその**カメラ 1 台のみ**です。**NVR に Web ブラウザでアクセスした場合、その NVR に接続されているカメラの映像を複数台**映し出す事が出来ます。

初めてカメラ及び NVR に Web ブラウザでログインする場合、PC 環境によってはブラウザに不足している追加プログラムのインストール許可を求められる場合があります。

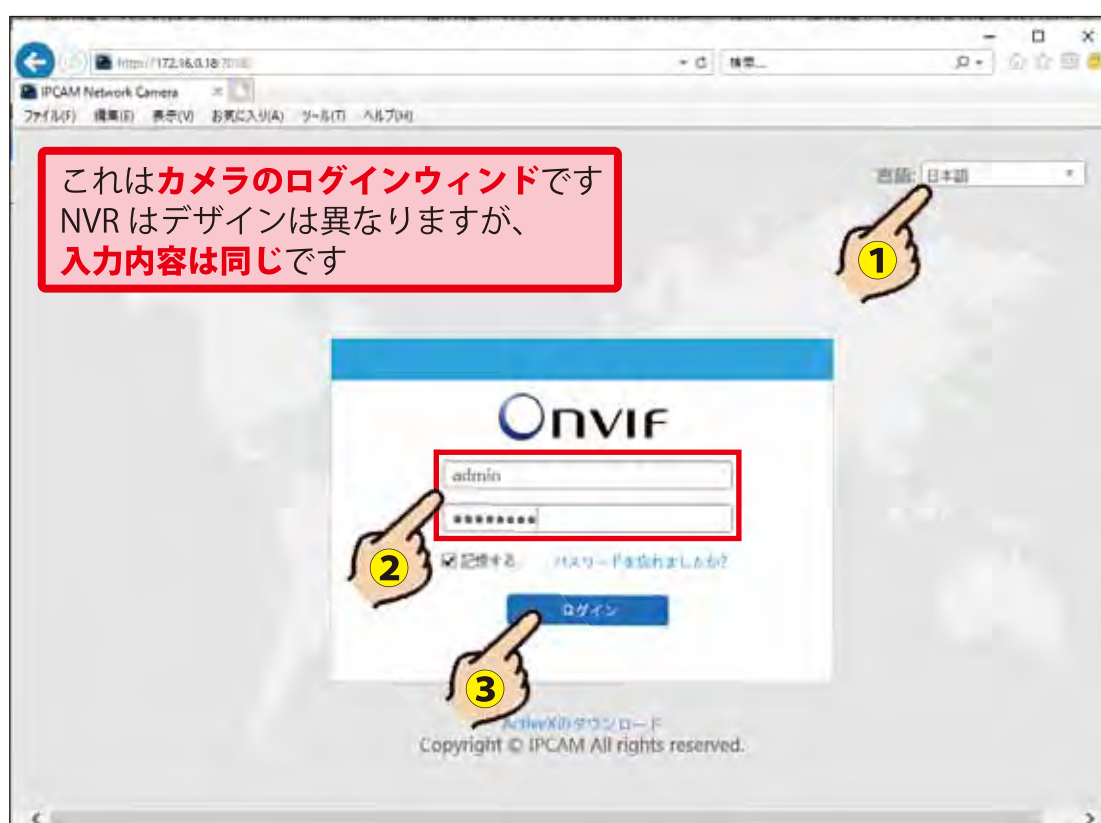
ライブ

- 1 Web ブラウザを起動し**アドレスバー**に NVR またはカメラのローカル IP アドレス、グローバル IP アドレス、固定 IP アドレスまたは DDNS アドレスと HTTP ポート番号を入力します。

- Web ブラウザの検索バーではなく、**アドレスバー**の方に入力して下さい。
- アドレスと HTTP ポート番号の間には「**:(コロン)**」を入れて下さい。



- 2 ウィンドの右上から**言語を選択**し、NVR またはカメラに登録済みの**ユーザー名とパスワード**を入力し Enter キーを押すか、**ログイン**をクリックします。



・カメラのユーザー名またはパスワードを連続3回間違えると、セキュリティロックが30分かかり、ログイン不可となります。管理者であってもこのロックを解除する事は出来ません。
 ・「記憶する」にチェックを入れ1度でもログインすると、次回 Web ブラウザを起動後、同じ IP アドレスのカメラに接続すると自動でログインしライブビューが表示されます。

カメラ

admin ログアウト 現在ログイン中のユーザー名とログアウト

AUTO 画面サイズに合わせる、100%表示、全画面表示

メインストリーム サブストリーム ストリーミング切替

UDP TCP HTTP 転送プロトコル切替 (通常は TCP を選択)

フレーム重視 バランス 画質重視 ライブビューコンディションの切替

設定 ページ切替

Smart イベント表示切替 (Smart イベントの設定が必要)

左から、
 ・ライブ停止 ・音声 ON/OFF
 ・スナップショット ・録画 ・デジタルズーム
 ・イメージ設定



NVR

カメラリストの表示/非表示

ライブ表示

再生

ANPR 設定 【予定機能】

NVR 設定

ステータス確認

ログ

ログアウト

カメラリスト

PTZ

イメージ設定

カメラリスト

PTZ パネル表示

カメライメージ設定

左から、
 ・全画面表示 ・1画面表示 ・4分割 ・8分割
 ・9分割 ・ページ切替 ・ライブ停止 ・デジタルズーム
 ・スナップショット ・録画 ・音声 ON/OFF ・アスペクト切替

Web ブラウザを用い、メインストリームでの分割表示による全チャンネル同時表示は、接続されているカメラの台数及びビットレート、NVR モデル、ネットワーク帯域などの点から表示不可となる場合があります。サブストリームをご利用下さい。1画面表示の場合はメインストリームで表示可能です。

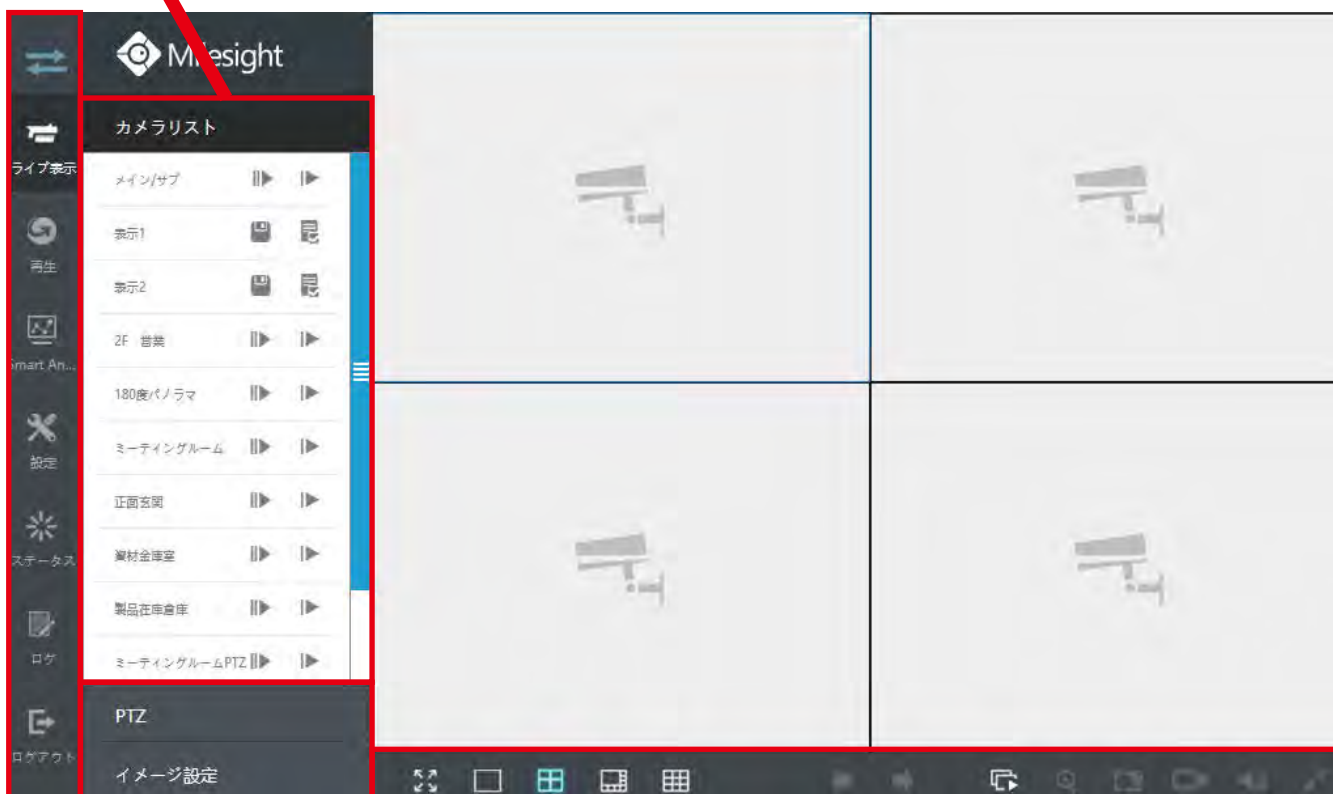


メイン/サブ：全てのメインまたはサブストリームを表示



表示 1 / 2：📁 表示パターンの登録 📄 表示パターンの呼出し

以下はカメラ単位のリスト：(チャンネル数に応じて)



再生






カメラ

この場合の「再生」とは、カメラ本体内に別売の microSD カードを挿入し、**ストレージ設定と録画設定で microSD カードへの録画を行う設定が有効**になっている必要があります。

以上の条件を満たしていない場合、バックアップは行えません。

- 1 Web ブラウザで目時のカメラにログインし、ライブビューの左下の**設定**をクリックします。設定ウィンドの**再生**を押します。



- ②   日付部分をクリックし、カレンダーから目的の日付を選択し虫眼鏡アイコン(検索)をクリック。
- ③   時間帯を入力し矢印アイコン(先へ)をクリック。
タイムスケール上でクリックしても時間帯を指定する事も可能
- ④ 

タイムスケールを変更する場合は  アイコンをクリック。



左から、・再生(再生中は一時停止) ・停止 ・戻し ・送り
・音声ON/OFF



左から、・スナップショット ・録画 ・デジタルズーム
・全画面表示

- ・ Web ブラウザからのカメラ本体内の microSD カードへのアクセスには、ネットワーク環境やネットワーク品質、カードの品質や消耗率、劣化率及びデータ容量により、多少時間がかかります。
- ・ Web ブラウザを用いての microSD カード再生中の戻し並びに送り機能は、スムーズな動作をお約束できるものではありません。

NVR

- ① Web ブラウザで目的の NVR にログインし、ライブビューの左のメニューから**再生**をクリック。通常はメインストリーム録画ですので**メインストリームを選択**し、再生したい**カメラにチェック**を入れ、カレンダーから対象となる**日付をクリック**します。タイムスケール上にマウスカーソルを合わせ、時間帯をクリックし最後に再生ボタンを押します。



タイムスケール上にマウスカーソルを合わせ、ホイールを回すことでタイムスケールを変更する事が出来ます。



左から、・分割表示切替 ・戻し ・再生(再生中は一時停止) ・停止 ・コマ送り ・送り
・デジタルズーム ・スナップショット ・カット(バックアップ) ・音声ON/OFF
・アスペクト比切替

バックアップ

カメラ

この場合の「バックアップ」とは、カメラ本体内に別売の microSD カードを挿入し、**ストレージ設定と録画設定で microSD カードへの録画を行う設定が有効**になっている必要があります。以上の条件を満たしていない場合、バックアップは行えません。

- 1 Web ブラウザで目的のカメラにログインし、ライブビューの左下の**設定**をクリックします。設定ウィンドの**詳細設定**をクリックし、その下の**ストレージ**を押します。続けて**検索**タグをクリックします。



- 2 バックアップ**開始の日時と終了の日時を設定**し**検索**をクリックします。リストから該当するファイルにチェックを入れ**ダウンロード**をクリックします。

表示	30	項目					ダウンロード		
<input type="checkbox"/>	ファイル名	開始時間	終了時間	タイプ	サイズ		ファイル検索		
<input checked="" type="checkbox"/>	120200225000001	2020-02-25 00:00:01	2020-02-25 00:00:01	時間	0.01 K		メイン項目: 録画		
<input checked="" type="checkbox"/>	120200225000053	2020-02-25 00:00:53	2020-02-25 00:04:20	時間	112.53 M		サブ項目: すべて		
<input type="checkbox"/>	120200225000420	2020-02-25 00:04:20	2020-02-25 00:12:08	時間	251.61 M		開始時間: 2020-02-25 00:00:00		
<input type="checkbox"/>	120200225001208	2020-02-25 00:12:08	2020-02-25 00:19:39	時間	250.84 M		終了時間: 2020-02-25 23:59:59		
<input type="checkbox"/>	120200225001939	2020-02-25 00:19:39	2020-02-25 00:27:12	時間	251.39 M		検索		
<input type="checkbox"/>	120200225002712	2020-02-25 00:27:12	2020-02-25 00:34:41	時間	250.60 M		リセット		
<input type="checkbox"/>	120200225003441	2020-02-25 00:34:41	2020-02-25 00:42:09	時間	250.56 M				
<input type="checkbox"/>	120200225004209	2020-02-25 00:42:09	2020-02-25 00:49:36	時間	251.43 M				
<input type="checkbox"/>	120200225004937	2020-02-25 00:49:37	2020-02-25 00:57:06	時間	250.90 M				

- 3 ダウンロードされたバックアップファイルはデフォルトの場合、お使いの PC の**ダウンロードフォルダに保存**されます。
ダウンロードされたバックアップファイルはセキュリティから、そのままでは再生できません。ファイルの拡張子は「.ps」となっており、**印刷データフォーマット形式**のように見えます。製品添付の CD-ROM に収録されているバックアッププレーヤー「VLC player」を PC にインストールし起動後、VLC から直接ファイルを開くか VLC 上にバックアップファイルをドラッグ アンド ドロップして下さい。

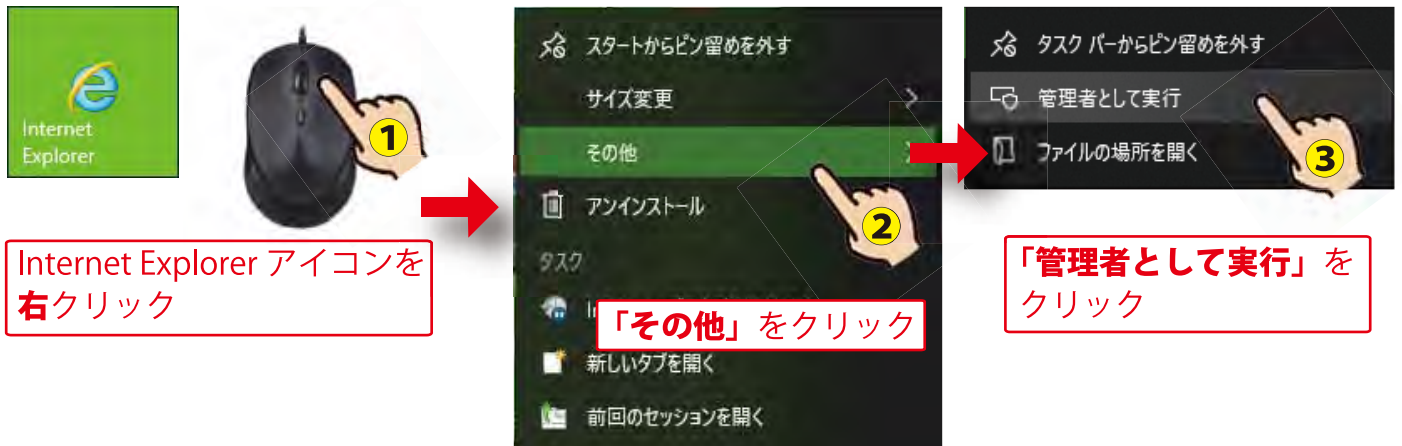
NVR

① 途中までは再生の手順と同じです。

Web ブラウザで目的の NVR に**管理者としてログイン**し、ライブビューの左のメニューから**再生**をクリック。通常はメインストリーム録画ですので**メインストリームを選択**し、バックアップする**カメラにチェック**を入れ、カレンダーから対象となる**日付をクリック**します。

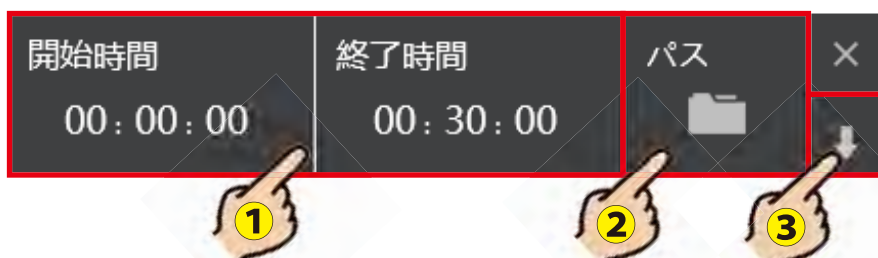
最後に  ハサミのアイコン (カット) をクリックします。

Web ブラウザ (Internet Explorer) は必ず「**管理者**」として開いて下さい。通常の手順で開くとバックアップファイルをダウンロードしているようには見えますが、ファイルを確認したり再生する事が出来ません。



② バックアップ開始時間と終了時間を入力。パスをクリックしバックアップファイルの保存先を指定し、 下矢印アイコンを押します。ダウンロードを中断 (キャンセル) する場合はもう一度青色になっている 下矢印アイコンを押します。

終了時間が開始時間を上回る事は出来ません。その為、終了時間を先に設定し、その後開始時間の設定をされる事をお勧めします。



3 CMS

PC 専用クライアントソフトウェア (CMS) では、デバイス (NVR 及びカメラ) に遠隔接続しライブビュー、再生、バックアップはもちろん、デバイスの設定や状態を確認する事が出来、同シリーズ専用が開発されているソフトウェアの為、Web ブラウザに比べ互換性の無い運用を実現

CMS を利用した遠隔接続ではインターネット回線を含め、ネットワークを利用する為、ネットワーク環境及びコンディション、通信品質などのインフラ面や、ネットワーク機器の状態などから、通信が不安定になったり強制的に切断されるなどの想定外の現象が発生する場合があります。これらの問題はデバイスやソフトとは別に、ユーザー様のご契約中の通信回線及びプロバイダーや契約内容、使用されている PC やネットワーク機器の問題も考えられます。

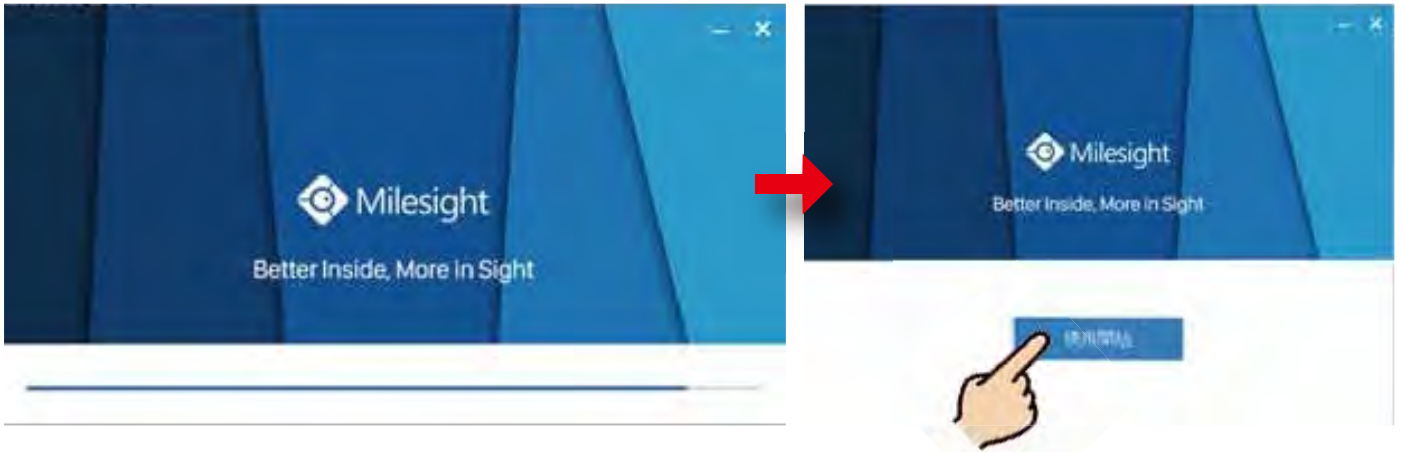
インストール

CMS ソフトは製品付属の CD-ROM に収録されています。
ソフトのインストール及び初期設定は 1 台の PC に対して初回の 1 回のみとなる為、ここでは簡単な説明とさせていただきます。詳しくは本編取扱説明書 (PC 用ソフト「CMS」) p98 をご参照下さい。

- 1 付属 CD-ROM 内の PC Soft > 遠隔ソフト > Mac または Windows フォルダ内の『Milesight CMS_???.exe』ファイルをダブルクリックする
- 2 各種インストール設定を行います。
 - ① インストール先変更 (必要な場合)
 - ② ショートカットをデスクトップに生成する場合はチェック
 - ③ PC 起動時に本ソフトを同時起動する場合はチェック
 - ④ 利用許諾誓約に同意の場合はチェック
 - ⑤ インストール実行

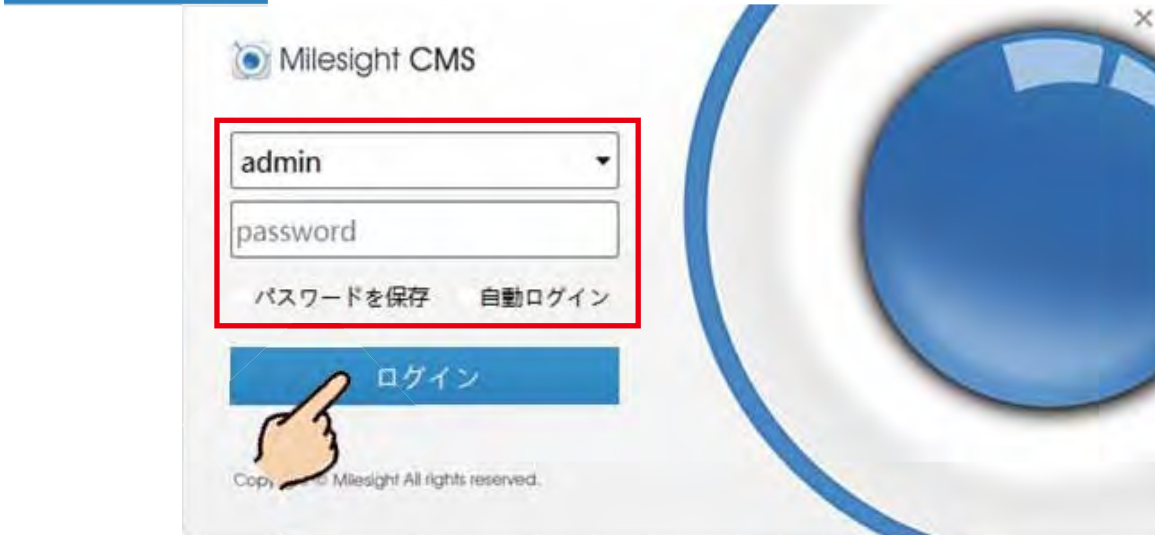


- ③ インストールが開始され、続けて表示される **利用開始** を押す。



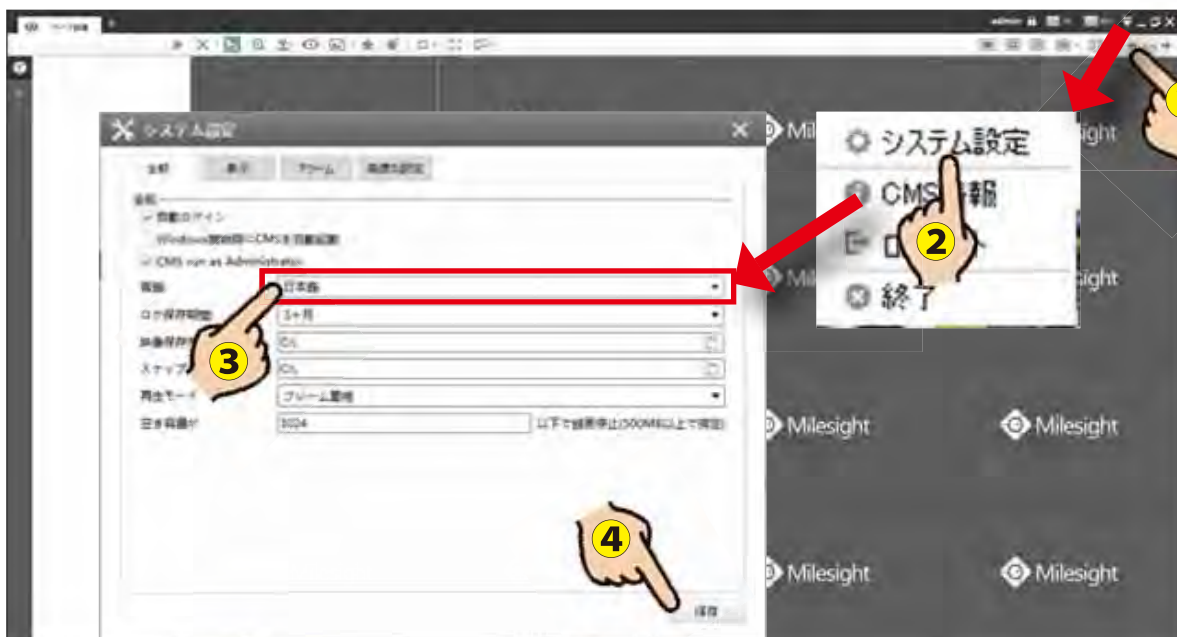
- ④ 初期値のユーザー ID『**admin**』、パスワード『**password**』を入力。CMS 起動時、毎回パスワードを入力しない場合は **パスワードを保存** にチェックを入れ、CMS 起動時にログインウィンドを表示せず、保存されたパスワードで自動ログインする場合は、**自動ログイン** にチェックを入れる。

ログイン ログインをクリック



CMS の初期設定 (初回のみ)

右上の  アイコンをクリックし **システム設定** を選択。言語を『**日本語**』を選択し **保存** を押す



CMS へのデバイス登録

CMS へ遠隔接続先となる NVR やカメラの情報を登録します

- 1 ライブ映像タグの右にある **+** をクリックし、タグメニューから **デバイス** をクリックする



- 2 PC と同一ネットワーク内のデバイスを登録する場合、デバイスの種類をカメラまたは NVR から選択し **検索** をクリックする。同一ネットワーク外の場合は **手動で追加** アイコンをクリック。

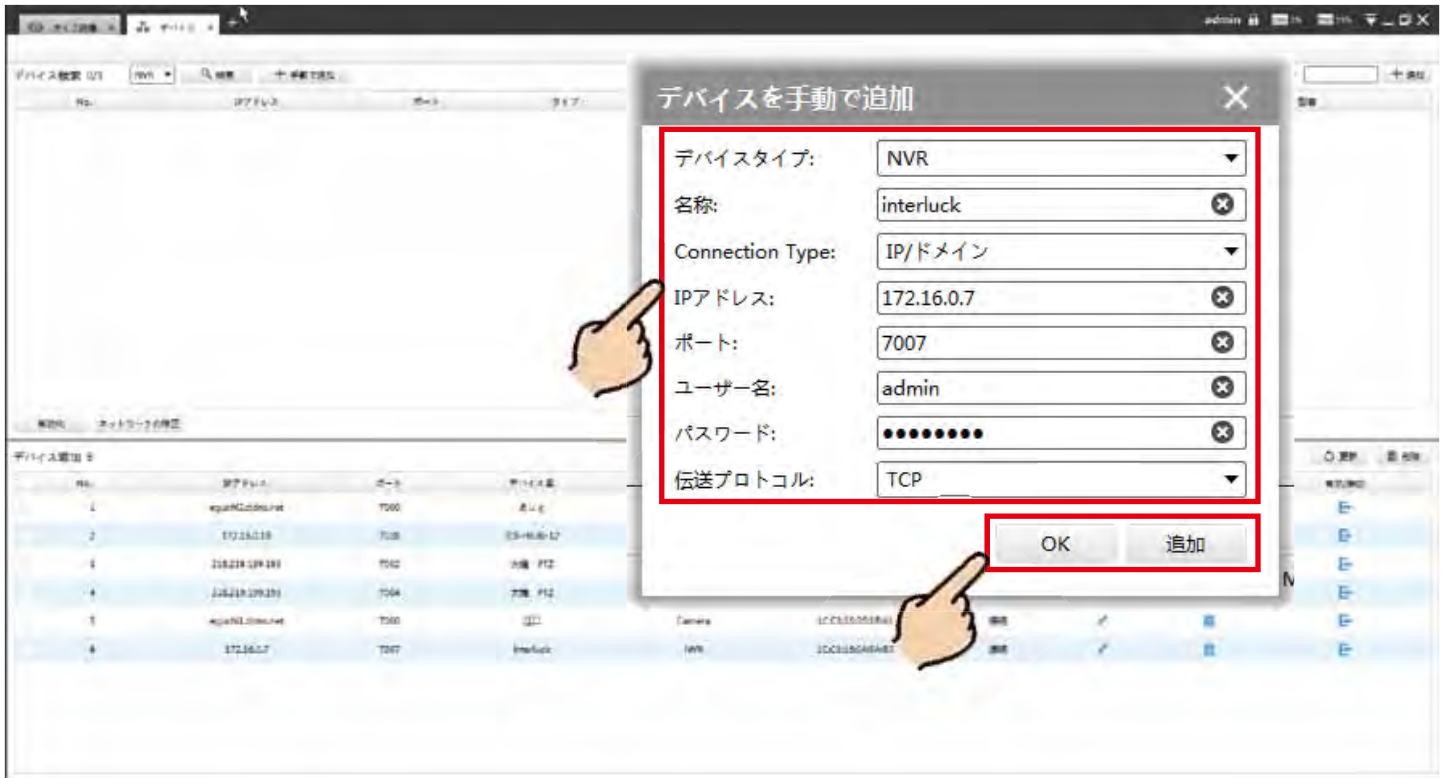





- 3 同一ネットワーク内の場合、検索により該当するデバイスがリスト表示されます。登録するデバイスにチェックを入れ、デバイスのユーザー名とパスワードを入力し追加をクリックします。




- 4 手動登録の場合、『デバイスを手動で追加』ウィンドが開くので、各項目に次の必要な内容を入力し登録を終了する場合は **追加**、手動登録を終了する場合は **OK** をクリック

- ◎ **デバイスタイプ**：登録するデバイスを『NVR』または『カメラ』から選択
- ◎ **名称**：登録するデバイスにタイトルを付ける
- ◎ **コネクションタイプ**：接続方法を『IP/ドメイン』、『P2P』、『Milesight DDNS』から選択
- ◎ **IPアドレス**：コネクションタイプが『IP/ドメイン』を選択している場合、デバイスのIPアドレスまたはドメインを入力。『P2P』または『Milesight DDNS』が選択されている場合、デバイスのMACアドレスの下6桁を入力
- ◎ **ポート**：コネクションタイプが『IP/ドメイン』を選択している場合、デバイスのHTTPポート番号を入力。『P2P』または『Milesight DDNS』が選択されている場合、ポート番号は省略
- ◎ **ユーザー名**：デバイスのユーザー名を入力
- ◎ **パスワード**：デバイスのパスワードを入力
- ◎ **転送プロトコル**：転送プロトコルを『UDP』または『TCP』から選択。通常は『TCP』を選択



- 5 登録されたデバイス情報は下のリストに追加されます。登録されたデバイスを削除する場合は該当するデバイスにチェックを入れ削除をクリックするか、各デバイスごとの  のアイコンをクリックします。また登録情報の編集や変更は  アイコン、登録済みのデバイスを一時的に無効にしたいときは  アイコンをクリックします。

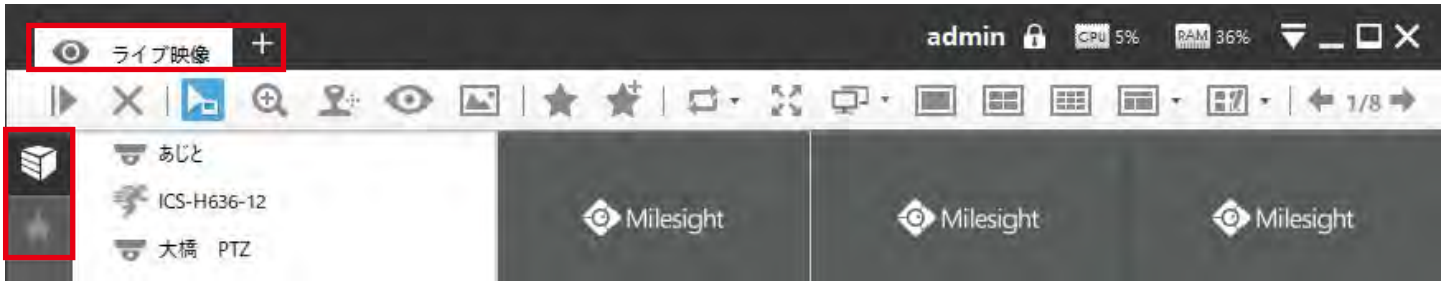
No.	IPアドレス	ポート	デバイス名	タイプ	MACアドレス	ステータス	編集	削除	有効/無効
1	eguch2.ddns.net	7000	あじと	Camera	1C03162674A5	接続			
2	172.16.0.18	7018	ICS-H636-12	Camera	1C03162225E4	接続			

- 6 デバイス登録ウィンドを閉じるには、デバイスタグの  をクリックします



ライブ

- ① CMS を起動しログイン 前回デバイスに接続したままの状態でも CMS を終了した場合、次回 CMS を起動時はその**終了したままの状態**で起動します。



ライブ映像 表示中のタグと「+」タグ切替（CMS 起動時は「ライブ映像タグ」を表示

デバイス一覧 表示 / 非表示

表示レイアウト（お気に入りリスト）



admin 現在ログイン中のユーザー名

ロック（CMS の操作が全てロックされます。解除するには、CMS に現在ログイン中のユーザーパスワードが必要です）

CPU 5% CPU 使用率

RAM 36% RAM 使用率

システムメニュー

最小化

最大化

閉じる



サブストリームで登録されている全てのデバイスを表示

表示されている全ての映像を停止

カーソルモード

デジタルズームモード

PTZ コントロールモード

FishEYE モード

ビデオ設定モード

お気に入り上書き保存

お気に入り新規登録

シーケンス ON/OFF（時間設定）

全画面表示

マルチディスプレイモード

1 画面表示

4 分割表示

9 分割表示

それ以外の分割表示

カスタムレイアウト呼出し / 登録 / 編集

1/8 ページ戻し / ページ番号 / ページ送り

- ② ライブを表示したいデバイスを**ダブルクリック**。またはライブを表示したいデバイスを**右クリックし再生を選択**。または ▶『サブストリームで登録されている全てのデバイスを表示』アイコンをクリック。但しこの場合、登録済みの全てのデバイスが表示されます。



- ③ 必要な場合、分割切替アイコン を押し表示を調整する
- ④ 各モードアイコン をクリックする事で、選択されているチャンネルの様々な操作を行う事が出来ます。

- カーソルモード：カーソルモードに切替、画像上のスピーカ及びマイクアイコンを押し、スピーカ/マイクのON/OFF
- デジタルズームモード：デジタルズームモードに切替、画像上でマウスホイールを回す事でデジタルズームIN/OUT
- PTZコントロールモード：PTZコントロールモードに切替、画像上のPTZアイコンを押し、PTZコントローラーの表示
- FishEYEモード：FishEYEモードに切替、画像上のFishEYEアイコンを押し、FishEYEコントローラーの表示
- ビデオ設定モード：ビデオ設定モードに切替、画像上のビデオ設定アイコンを押し、ビデオ設定コントローラーを表示

チャンネル内表示

左から、・録画開始 ・スナップショット ・全画面表示 ・停止

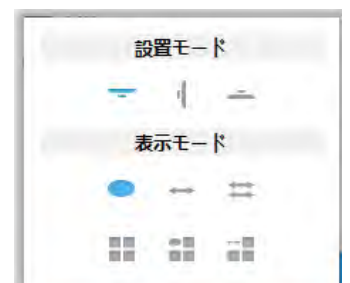
チャンネルはダブルストリーミング方式で表示されます。分割表示の場合『サブストリーム』で表示。サブストリームは解像度が小さくデータ量が抑えられる為、動きはスムーズになるが、画質が低下する。1画面及びフルスクリーンの場合、『メインストリーム』で表示。メインストリームは解像度が大きい為、画質が向上するがデータ量が増え動きが多少重くなる表示サイズによりメインとサブのストリームを自動で切り替える為、ネット環境やPCスペックなどから切替直後はスムーズに映像が表示されない場合があります。

FishEYE モード (ICS-H636-5/12)

設置位置：← 天井設置 ↓ 壁面設置 → 据置

表示モード：● FishEYE ← 360度パノラマ ⇄ 180度パノラマ
 4分割 3分割+FishEYE
 3分割+360度パノラマ

表示モードが FishEYE 以外は PTZ モードでカメラの向きを変更



再生

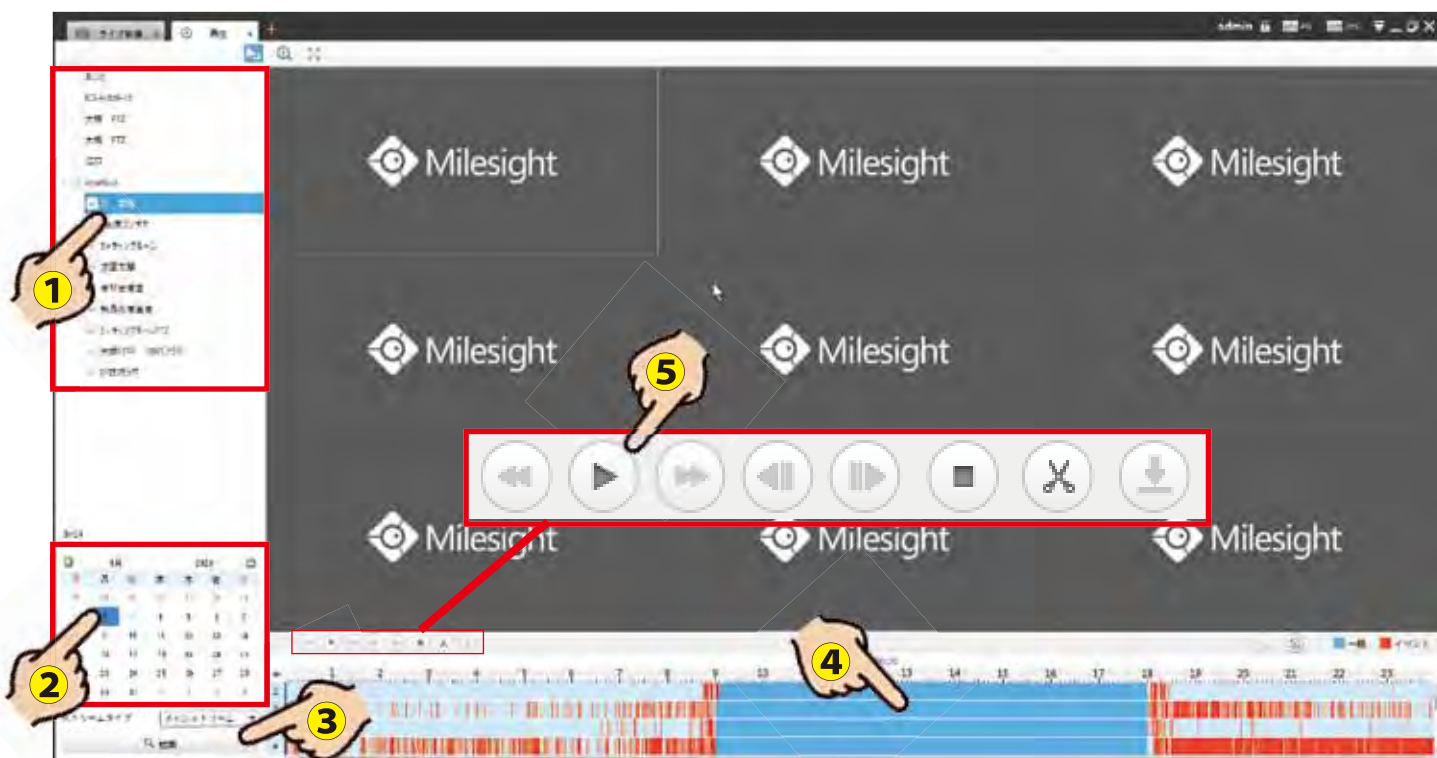
- ① CMS を起動しログイン
- ② ライブ映像タグの右にある+をクリックし、タグメニューから再生をクリックする





- ③ デバイスリストから再生するデバイスにチェックを入れ、カレンダーから日付をクリックし検索をクリック

選択されているデバイスの台数、特に NVR を選択した場合、その NVR に接続されているカメラの台数、HDD の容量、保存期間、ネット環境やコンディション、PC スペックなど、様々な条件により、検索時間は 1 分以上を超える事があります。

- ④ 録画データが存在する場合、タイムバー上には赤または青の帯で表示されます。適当な部分をクリックし再生アイコンをクリックするとその時間帯から再生が開始されます。デフォルトのタイムスケールは 1 日 (24 時間) 表示になっています。タイムバー上でマウスのホイールを回す事で、タイムバーのスケールを変更する事が出来ます。



バックアップ

- 1 再生の手順に沿って、バックアップしたいデバイスと日付を選択し検索します。
- 2  ハサミアイコンをクリックします。タイムスケール上に半透明の帯が表示されますので、両サイドをドラッグして開始と終了の時間を決めます。操作パネルの下に時間が表示されます。
 ダウンロードアイコンをクリックします。タイムバー上でマウスのホイールを回す事で、タイムバーのスケールを変更する事が出来ます。



- 3 ダウンロードステータスウィンドが表示されますので、必要なファイルにチェックを入れ **選択をダウンロード** をクリックします。ダウンロード状況は「ダウンロードステータス」の列で確認する事が出来ます。
ダウンロードが完了するとダウンロードファイルが収納されているフォルダが自動で開きます。ダウンロードファイルは「.avi」フォーマットですので、AVI ファイル再生が可能なプレイヤーで再生を行って頂くか、製品付属の CD-ROM 内に収録されているバックアッププレイヤー「VLC Player」をご利用下さい。



4 モバイル

モバイル端末（スマートフォン及びタブレット）に専用のアプリケーション（App）をインストールし NVR やカメラへ遠隔接続し、ライブビュー 再生 PTZ 操作などを行う事が出来ます。

- ・モバイルでの遠隔接続には 4G/LTE や Wi-Fi を使用する為、通信品質によっては接続が不安定になったり途中切断や接続不可の場合が発生します。
- ・モバイルで 4G/LTE を用いての遠隔接続の場合、大容量の通信量（パケット）を利用します。定額通信プランへの加入と、Wi-Fi 環境でのご利用をお勧めします。また通信中は予想以上に端末の電池消耗が進む為、端末が熱を発する場合があります。
- ・モバイル端末の世代（バージョン）、端末を制御する OS (iOS/Android OS) のバージョン、App のバージョンの 3つの互換性が適合しない場合、App が正常に機能しなくなる事があります。OS は最新の端末向けに開発され、App は最新の OS 向けに開発されており、OS と App は常にネットを介して最新の物を利用できますが、端末の世代は古いままの為、このような現象が発生してしまいます。

ここでは iPhone 版を例に説明します。App 開発のタイミングによっては Android 版と多少機能と動作に違いが生じます。

App の入手

モバイル端末（スマホやタブレット）内蔵のカメラで右の QR コードを撮影し、Apple Store または Google Store (Play Store/Google Play) からモバイル App 「M-Sight Pro」をダウンロードとインストールを行って下さい。



カメラ機能が利用出来ない場合、直接 Store で M-Sight Pro を検索し、ダウンロードとインストールを行って下さい。

iPhone や iPad などの Apple OS 端末では、標準搭載のカメラ App で QR コードを読み取り、Apple Store にジャンプする事が出来ますが、一部の Android 端末では QR コード読み専用 App が必要な場合があります。

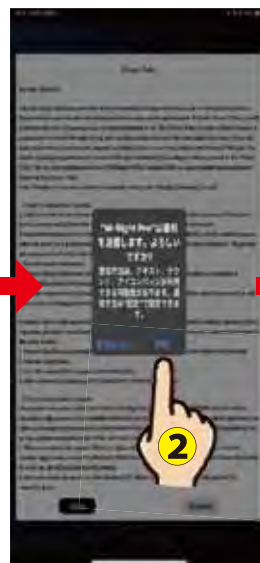
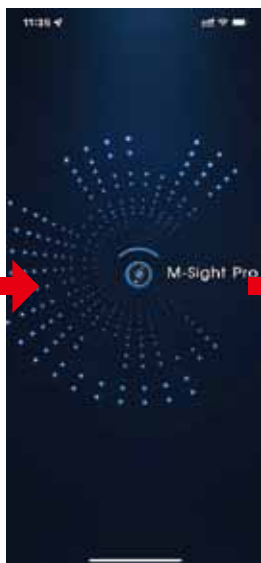
App の初期設定

App を初めて使用する（起動する）場合、または使用環境や条件に合わせ、必要に応じて App の詳細設定を行う事が出来ます。

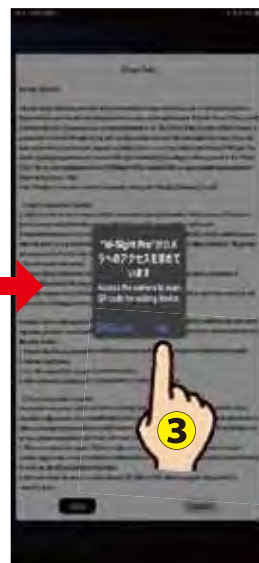
- ① スマホにインストールされた M-Sight Pro のアイコンをタップします。
- ② 【初回のみ】 通知の受け取りの有無に関するメッセージが表示されます。許可または許可しないをタップします。
- ③ 【初回のみ】 アプリが端末のカメラへを使用する同意を求められますので、OK または許可しないをタップします。
- ④ 【初回のみ】 使用許諾同意書への同意を求められますので、Agree（同意）をタップします。



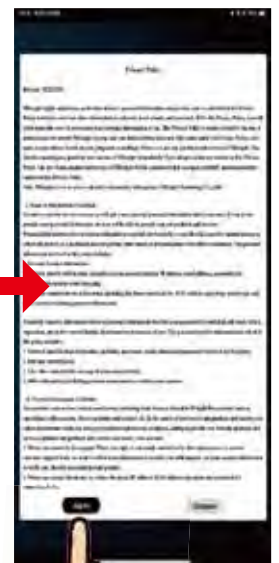
M-Sight Pro のアイコンをタップ



通知を許可 初回のみ



カメラアクセスを許可 初回のみ



Agree（同意）をタップ

- ⑤ **【初回のみ】** デモンストレーションが表示されますので、**Skip** をタップします。
- ⑥ **【初回のみ】** Milesight Cloud へのログインを求められます。
ログインする場合は、登録済みのメールアドレスとパスワードを入力し **LOGIN** をタップします。
ログインしない場合は、**左上の←をタップ**します。
新規登録する場合は、**Sign Up** をタップします。*メールアドレスが必要です。
パスワードを忘れた場合は、**Forgot your password?** をタップし、パスワードの再登録を行います。

メモ

一度ログインしないを選択すると、次回以降はこの画面は表示されなくなり、再びメニューからログインをタップすると表示されるようになります。



Milesight Cloud とは？

Milesight Cloud に登録された多くの NVR を 1 つのユーザー ID とパスワードで管理する事により、登録デバイスを複数台の端末で共有でき、グループを組んだり IoT との組み合わせを一括管理する事ができます。

これまでの P2P 接続では世界中のどこに P2P サーバーが設置され誰が管理しているのかなど不明確な点が多く、サーバーダウンや情報漏洩、第三者からの攻撃やの侵入を受けやすいものでした。

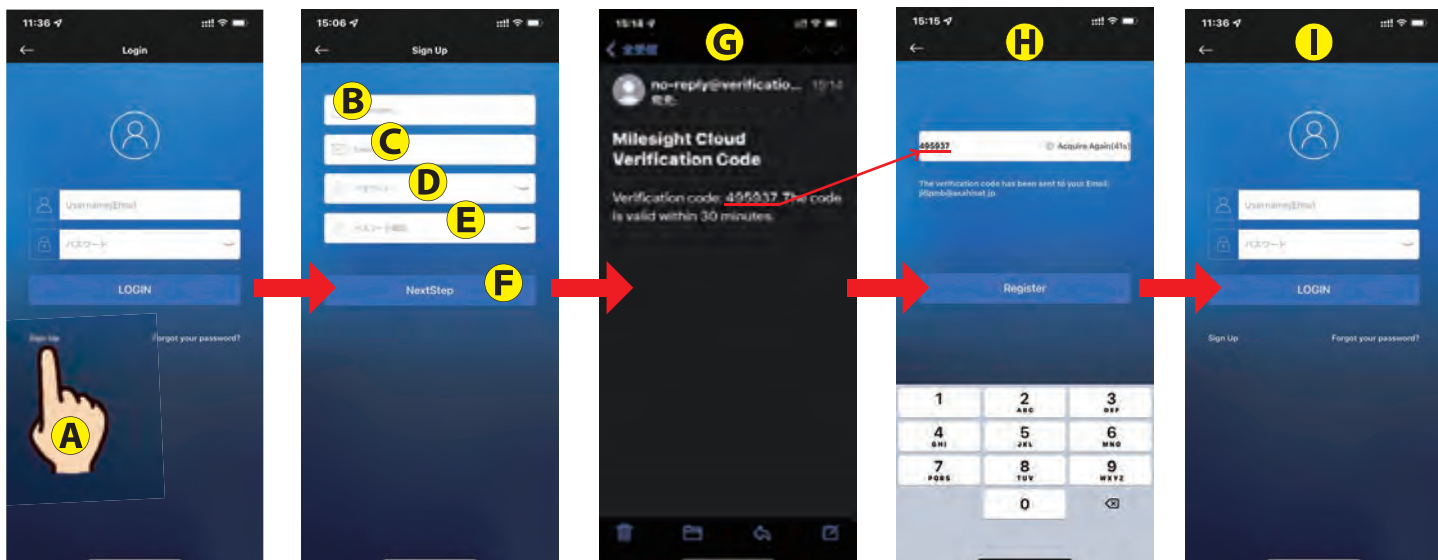
Milesight Cloud は NVR の製造メーカーが独自に P2P に変わるサーバーを運用しており、軽く、速く、安全でネットワークに負担をかけにくい現在開発中の新しい遠隔システムの一つです。

※グローバル IP (固定 IP) または DDNS を利用して遠隔接続している NVR は Milesight Cloud は使用できません。

※Milesight Cloud へログインしなくても M-Sight Pro は利用できます。**絶対にログインが必要、新規登録が必要**という事では有りませんがログイン後、多少デバイスへの接続が高速化されます。

新規登録

- A. **Sign Up** (新規登録) をタップします
- B. **Username** にユーザー名を入力します ※日本語及び全角不可 半角英数字のみ
- C. **Email** に登録するメールアドレスを入力します
- D. **パスワード** を入力します。英数大小文字組み合わせで 8 文字以上 32 文字以内
- E. **パスワード確認**にもう一度同じパスワードを入力します
- F. **Next Step** をタップします
- G. 登録したメール宛てに Milesight Cloud から Code が書かれた**メール**が届きます
- H. メール内に書かれた数字 6 桁の Code を **1 分以内**に入力し、**Register** (登録) をタップします
- I. 登録が完了するとログインページに戻ります。登録したメールアドレスとパスワードを入力し **LOGIN** をタップします



Milesight Cloud ログイン後またはログイン画面から左上の←をタップしてログインせずに M-Sight Pro を使用する場合、ライブビューアの左上の☰アイコンをタップしメニューを表示させ、**設定**をタップします。メニューに表示される内容は、Milesight Cloud にログインしているか、またはログインしていない（ログアウト）かによって異なります。ログイン中に追加で表示される内容は主に Milesight Cloud に関するもので、実際の M-Sight Pro の操作には影響しません。



設定の項目と内容

新しいメッセージ通知	通知の ON/OFF を表示。設定は端末の「設定」→「通知」で行います 初回起動時の通知設定のメッセージで、「許可」を選択すると ON。「許可しない」を選択すると OFF が表示されます
パスワード保護	M-Sight Pro の起動をパスワードで保護するかの選択。デフォルトは OFF
ビデオパフォーマンス	「通信優先モード」、「自動モード」または「画質優先モード」から選択。デフォルトは 自動モード
前回の接続を再開	アプリの再起動時、前回の接続状態を復旧するか、「再接続しない」、「いつも再接続する」または「毎度確認する」から選択。デフォルトは 毎度確認する
アラームプッシュ間隔	Push 通知間隔を、30 秒 / 60 秒 / 5 分 / 10 分 / 30 分 / 1 時間 / 2 時間から選択 デフォルトは 30 秒 ※この項目はお使いの M-Sight Pro のバージョンによっては表示されません
アスペクト比	アスペクト比を「リサイズ (画面に合わせる)」または「オリジナル (カメラ設定サイズ)」から選択。デフォルトは リサイズ
アラームビデオプッシュ	【予定機能 開発中 ON になっている場合は OFF に切り替えて下さい】
モバイルネットワークを記憶	モバイルデータ通信の環境で M-Sight Pro を運用する場合、警告表示の ON/OFF。 デフォルトは ON
ストリーム情報を表示する	ストリーム情報の表示 / 非表示。デフォルトは 非表示
TCP	TCP プロトコルの利用の ON/OFF。デフォルトは ON ※この項目はお使いの M-Sight Pro のバージョンによっては表示されません
ヘルプ	英文による M-Sight Pro のマニュアル
アプリについて	機能紹介 (英文)、使用許諾契約書 (英文)、バージョン情報、アップデート確認

App ヘデバイス登録

左上の☰アイコンをタップし**デバイス管理**をタップします。右上の☑️アイコンをタップし、デバイスの登録方法をタップします。IP カメラを登録する際は**カメラ登録**、NVR を登録する際は **NVR 登録**、NVR の画面に表示される QR コードで登録する場合は **QR コード登録**、登録されたデバイスを削除する場合は**デバイスを削除する**をタップします。

QRコード登録は NVR のみの機能でカメラでは使用出来ません。NVR の画面に表示される QR コードが要です。カメラ登録を選択し NVR の情報を入力したり、またはその逆など登録する項目を誤ると登録できません。QRコード登録では端末のカメラを利用します。初期起動の際にカメラへのアクセスを許可していない場合、端末の設定で許可に設定して下さい。アプリから直接カメラアクセスを許可する事は出来ません。

◆ QR コードを選択した場合

NVR のメニュー>設定>ネットワーク>P2P または Milesight Cloud に表示される QR コードまたは、NVR に表示される QR コードを撮影した写真を端末のカメラで撮影し登録を行います。

撮影を行い認識されると自動で NVR の QR コード登録ウィンドに切り替わりますので、**次のページ (23 ページ)** に進み、**P2P** または **Milesight Cloud** の必要事項を入力します。

※写真の条件 (角度、鮮明度、明暗など) によっては認識 (登録) 出来ない場合があります。

機器に QR コードが表示されるのは NVR のみです。カメラには QR コードは表示されませんが、アプリのデバイス登録には QR コード登録が表示されます。



ライブビューア

メニュー (ログイン)

メニュー (ログアウト)

デバイス登録

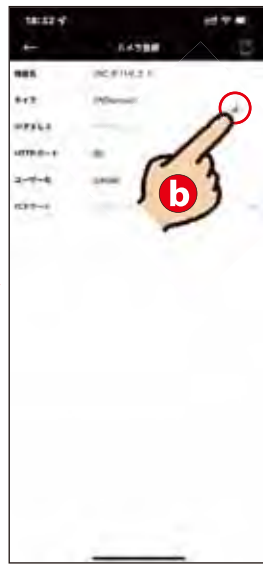
◆ カメラ登録または NVR 登録を選択した場合

以下の必要事項を入力して下さい。**b のタイプの選択内容**によって、登録内容が異なる箇所と、全てで共有する内容がありますので、注意して登録して下さい。

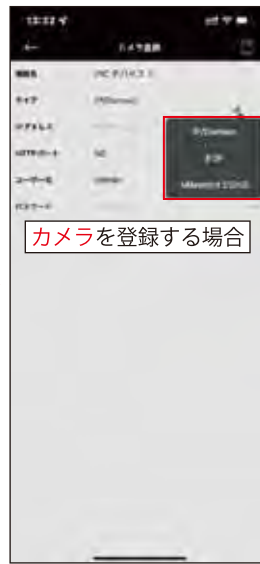
a 機器名	App 内でデバイスを管理する為の名称です。自由にデバイスに名称を付けます
b タイプ	「IP/Domain」、「P2P」、「Milesight DDNS」、NVR 登録では「Milesight Cloud」から選択します タイプの選択内容によって登録内容が異なります。デフォルトでは IP/Domain
c IP アドレス	タイプを IP/Domain 選択時のみ表示 デバイスの IP アドレスまたは、メーカー純正の DDNS (Milesight DDNS) 以外の DDNS をご利用の際は、その DDNS サービスが提供する DDNS アドレスを入力する ※本ハードウェア及びソフトウェアで他社の DDNS サービスが使えるかを保証するものではありません
d MAC	タイプを P2P 選択時のみ表示 表示される「1C:C3:16:」の後をタップし、NVR の MAC アドレスの 下 6 桁 を入力。または QR コードのアイコンをタップし、NVR のメニュー>設定>ネットワーク>P2P または Milesight Cloud に表示される QR コードを撮影
e ドメイン名	タイプを Milesight DDNS 選択時のみ表示 表示される「ddns.milesight.com」の後をタップし、デバイスの MAC アドレスの 下 6 桁 を入力
f Registration Code	タイプを Milesight Cloud 選択時のみ表示 NVR の Milesight Cloud 設定画面に表示される Registration Code を入力するか、または QR コードのアイコンをタップし、NVR の Milesight Cloud 設定画面に表示される QR コードを撮影
g Group	タイプを Milesight Cloud 選択時のみ表示 タップし登録するグループを選択します。グループの登録は Web サイトで行います。グループが選択されないまま登録を実行すると、Default に登録されます
h HTTP ポート	タイプを IP/Domain 選択時のみ表示 デバイスの HTTP ポート番号 を入力。デフォルトは 80
i ユーザー名	デバイスの ユーザー名 を入力。デフォルトは管理者の admin
j パスワード	デバイスの パスワード を入力



a. 機器の名称を入力



b. タイプの右端の▲をタップし
デバイスのタイプを選択



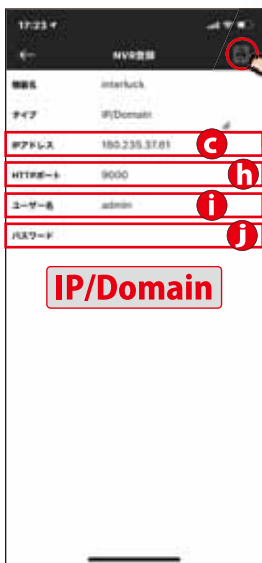
カメラを登録する場合



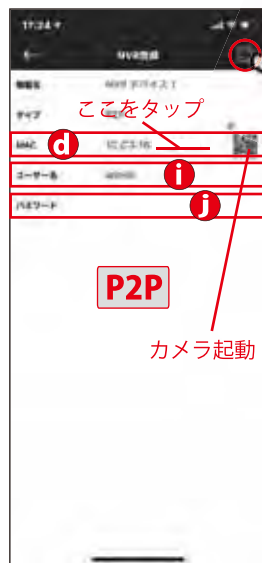
NVRを登録する場合

or

どのデバイスを登録するかにより、タイプに表示される登録方法が異なります。



カメラ /NVR 登録共に同じ内容



カメラ /NVR 登録共に同じ内容。
但しカメラでは QR コードを取得できない



カメラ /NVR 登録共に同じ内容



NVR 登録のみ

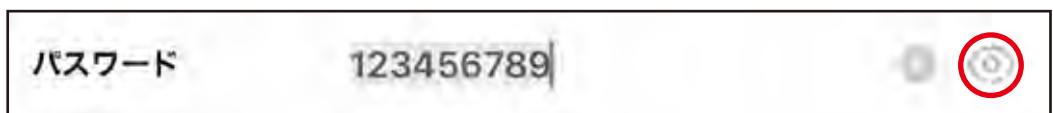
メモ




NVR 登録のタイプを P2P を選択した際の MAC アドレスの入力項目とタイプを Milesight Cloud を選択した際の Registration Code の入力項目の右端に表示される QR コードのアイコンをタップする事で、端末のカメラを起動し、NVR に表示される QR コードを撮影し登録する事ができます。
NVR 側の QR コードは、メニュー>設定>ネットワーク>P2P または Milesight Cloud を有効にし保存 (適用) すると表示されます。

メモ

パスワード欄の右端にある瞳のアイコンが閉じている状態 (上段) ではパスワードは「*****」で表示され、瞳をタップし開いた状態 (下段) にすると、パスワードが表示され、確認する事ができます。タップしない限り瞳は閉じた状態のまま、パスワードを視覚的に確認する事は出来ません。



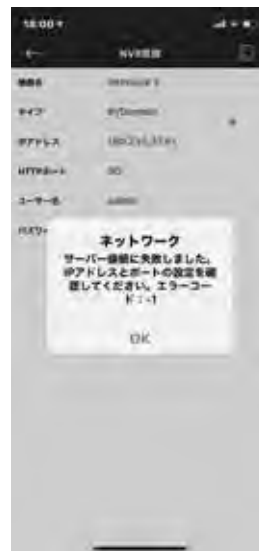
必要項目の入力が全て完了したら、右上の SD カードのアイコン  をタップし登録を完了させます。

登録が成功した場合、直ちにデバイスに接続しライブ映像を表示させるか、続けてデバイス登録を行うかの選択メッセージが表示されます。**YES** をタップすると今現在登録したデバイスに接続しライブ映像が映し出されます。

登録が成功した場合



登録が失敗した場合



ライブ

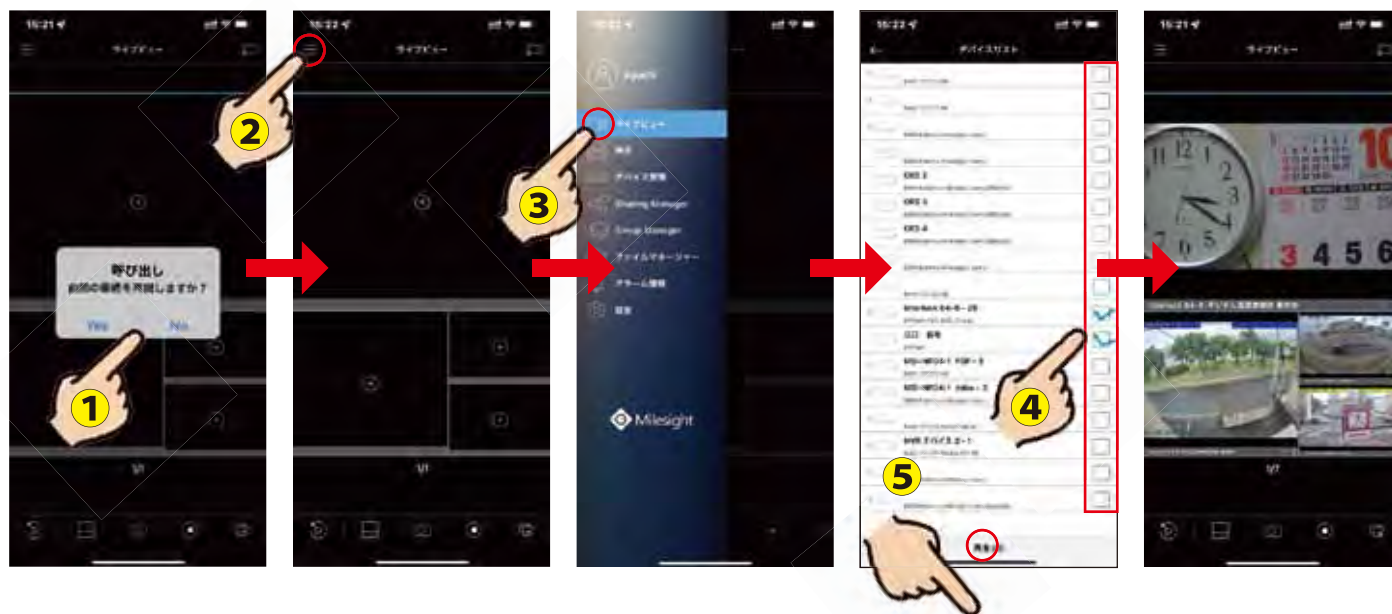
① M-Sight Pro App を起動します。起動のタイミングによっては「**前回の接続を再開しますか?**」のメッセージが表示されますので、接続する場合は **YES**、接続しない場合は **NO** をタップします。

- ・前回の接続歴が無い、初めて App を起動した場合などでは再接続メッセージは表示されません。
- ・再接続メッセージは App の設定で「自動接続」または「接続しない」を設定する事が可能です。

② 左上の アイコンをタップし **ライブビュー** をタップします。

右上の デバイスアイコンをタップし登録済みのデバイスリストから、ライブ映像を表示させたいデバイスにチェックを入れ最後に **再生** をタップします。

※アプリを起動させた直後はライブビューモードですので、左上の アイコンのタップを必要ありません。

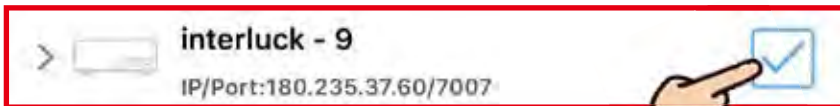


メモ

選択するデバイスが NVR の場合、**その NVR に接続されているカメラ単位で選択する事も可能**です。**NVR のチェックボックスにチェック**を入れると NVR 全体を選択した事になり、その NVR に接続されている全てのカメラを選択した事になります。**NVR の名称をタップ**すると、その NVR に接続されているカメラがリスト表示されます。ライブを映し出したいカメラにチェックを入れ **再生** を押します。



NVR 全体を選択する場合



または

Check!

NVR に接続されているカメラを選択する場合



Tap

Check!

操作

- 画面を左右にスワイプするとページ移動 (切替)。但し複数ページがある場合のみ
- 1チャンネル (カメラ映像) をダブルタップで1画面表示
- 1チャンネルを D&D (ドラック・アンド・ドロップ) で他のチャンネルへ移動 (他のチャンネルと入替)
- 1チャンネルを D&D で上部のゴミ箱に持っていくと表示削除 (非表示)



ページ移動



ダブルタップで1画面表示



チャンネル入替



表示削除 (非表示)

チャンネル単位で様々な操作を行う事が出来ます。

分割表示の場合、**画像の外に青い枠が付いたチャンネル**に対し操作が選択できますが、目的のチャンネルをダブルタップし1画面表示に切り替えて様々な操作を行う事をお勧めします。以下は1画面表示での操作を説明します。下段の操作パネルを左右にスワイプする事で、操作パネルページを切り替える事が出来ます。

- 操作内容は接続されているカメラ全てに共通するものと、カメラ特有の機能を操作するものがあります。
- iOS と Android の違い、App のバージョンによって機能や表示レイアウトが異なります。常に最新の App バージョンをご利用下さい。
- 端末の OS の違いにより開発の差が生じる場合があります。



- | | | | | | |
|--|---|--|-----------------------|--|---------------------|
| | 簡易再生 ※コントロールパネルを切り替えても簡易再生だけは常に左端に表示されます。 | | スピーカー ON/OFF | | Alarm コントロール ON/OFF |
| | 分割切替 | | マイク ON/OFF | | ストリーム切替 |
| | 静止画保存 | | PTZ コントロール ON/OFF | | お気に入り登録 |
| | 動画保存 | | FishEYE コントロール ON/OFF | | ズームコントロール ON/OFF |
| | ライブ ON/OFF | | | | |

簡易再生 ※コントロールパネルを切り替えても簡易再生だけは常に左端に表示されます。

ここで動作するのは**簡易再生**です。NVRの場合は内蔵のHDD、カメラ単体の場合はカメラ内蔵のmicroSDカードにアクセスし保存される**最も新しい日付(当日)**の、存在する**最も古い録画データから再生**を開始します。ここでは簡易再生を呼び出す開設のみで、再生コントロールは再生をご参照下さい。通常、簡易再生で呼び出せるチャンネル(カメラ)は1つです。通常再生の手順で複数台同時再生する事は可能です。

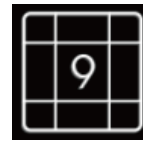
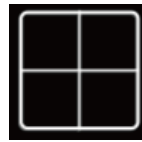
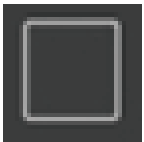
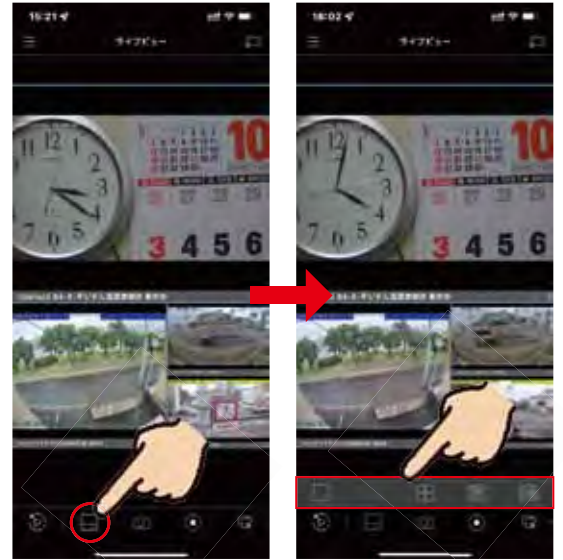
- ・ NVRにHDD、カメラにmicroSDカードが搭載され録画されている事が前提です。搭載または録画されていない場合でもAppは再生モードに切り替わり検索は実行されます。
- ・ アプリでの再生には端末の種類やOSのバージョン、アプリのバージョン、ネット環境や通信速度、保存データ量やメディアの総容量、データの古さなどの条件により検索に所要する時間や再生が開始されるまでに時間がかかり、再生中の動作が重くなる場合があります。

- ① 分割画面の場合、簡易再生させたいチャンネル(カメラ)をタップし画像の周りに青枠を付けます。または簡易再生させたいチャンネルをダブルタップし1画面表示に切り替えます。
- ② 簡易再生のアイコンをタップします。検索が始まり保存される**最も新しい日付(当日)**の、存在する**最も古い録画データから再生**を開始します。



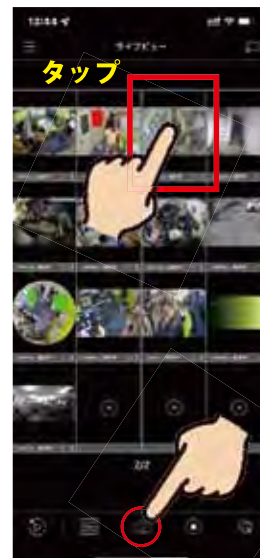
分割切替

必要に応じ**分割アイコン**をタップし画面の分割表示を切り替えます。
 選択されている分割表示以上のカメラがある場合、ページで
 分けられます。
 ページは端末の画面を左右へスワイプする事で次のページに移動する
 事ができます。
 ※最大分割数は1画面16分割（16チャンネル）となります。



静止画保存

- 1 分割画面の場合、静止画を保存させたいチャンネルを
 タップし画像の周りに青枠を付けます。
 または静止画を保存させたいチャンネルをダブルタップし
 1画面表示に切り替えます。
- 2 静止画保存のアイコンをタップします。
 画像はアプリのファイルマネージャーに保存されます。
 ファイルマネージャーから端末の画像フォルダへ移動が
 必要となります。ファイルマネージャーの項目参照

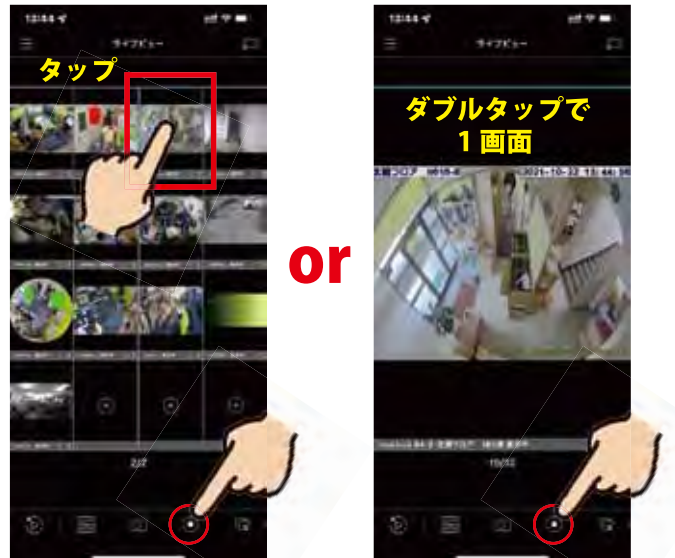


or



🎯 動画保存

- 1 分割画面の場合、動画を保存させたいチャンネルをタップし画像の周りに青枠を付けます。
または動画を保存させたいチャンネルをダブルタップし1画面表示に切り替えます。
- 2 動画保存のアイコンをタップします。
動画はアプリのファイルマネージャーに保存されます。
ファイルマネージャーから端末の画像フォルダへ移動が必要となります。ファイルマネージャーの項目参照



📺 ライブ ON/OFF

ライブ ON/OFF のアイコンをタップする事で、表示されている画像を**一時的に消す**事ができます。再びアイコンをタップする事で画像は復旧し元に戻ります。

※NVR 及びカメラとの接続が切れたわけではありません。この間も接続状態は継続される為、そのまま放置すると端末のバッテリーが消耗され通信量も増え、場合によっては端末が発熱する場合がありますのでご注意ください。

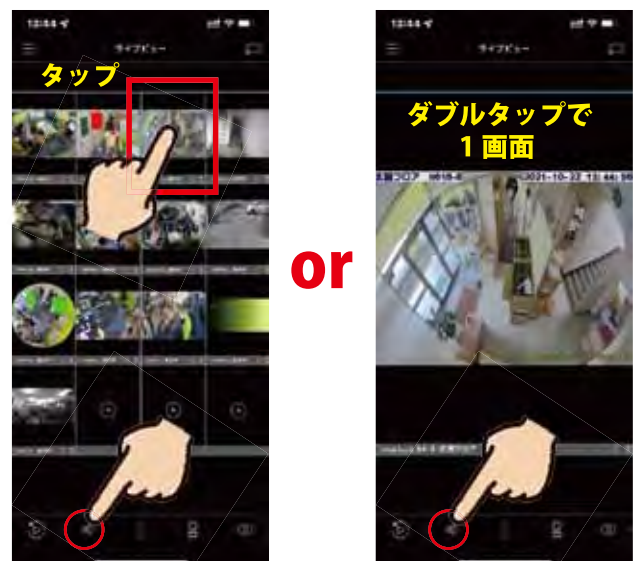
🔊 スピーカー ON/OFF

マイク内蔵またはマイクが接続されているカメラの場合、スピーカー ON/OFF のアイコンをタップします。

音量は端末のボリュームで捜査します。

※デフォルトは **OFF** の状態です。

- 1 分割画面の場合、音声を聞きたいチャンネルをタップし画像の周りに青枠を付けます。
または音声を聞きたいチャンネルをダブルタップし1画面表示に切り替えます。
- 2 スピーカー ON/OFF のアイコンをタップする事で、端末のスピーカー ON になり音声が流れ出します。再びアイコンをタップする事でスピーカーは OFF になり、音声は止まります。

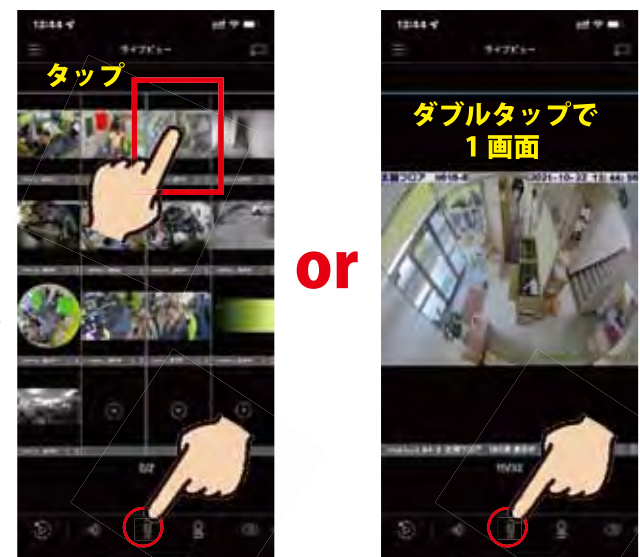


🎤 マイク ON/OFF

端末のマイクの音声を対応のカメラに接続されたスピーカーから流します。音声双方向通話の際に利用します。

※デフォルトは **OFF** の状態です。

- 1 分割画面の場合、音声を流したいチャンネルをタップし画像の周りに青枠を付けます。
または音声を流したいチャンネルをダブルタップし1画面表示に切り替えます。
- 2 マイク ON/OFF のアイコンをタップする事で端末のマイクは ON になりカメラに接続されたスピーカーからこちらの音声が流れ出します。再びアイコンをタップする事で端末のマイクは OFF になり、音声は止まります。

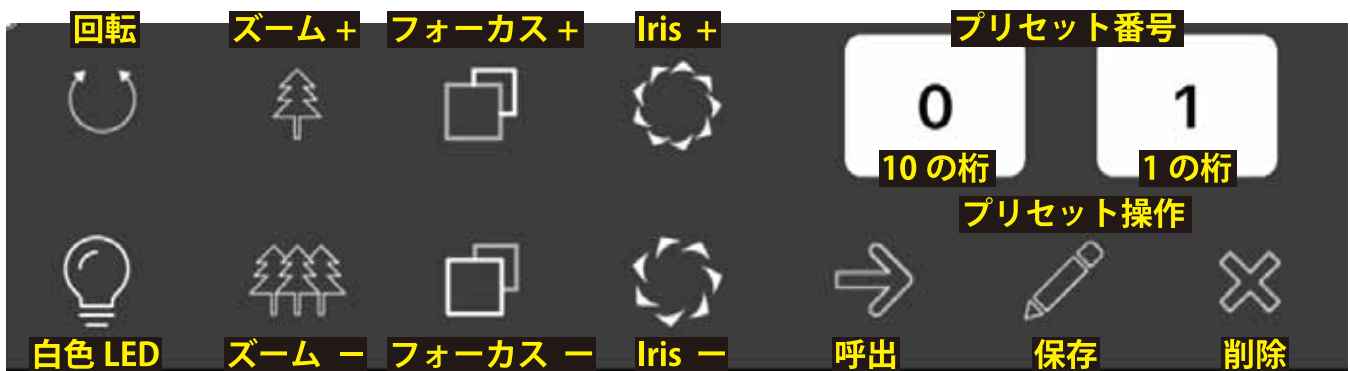
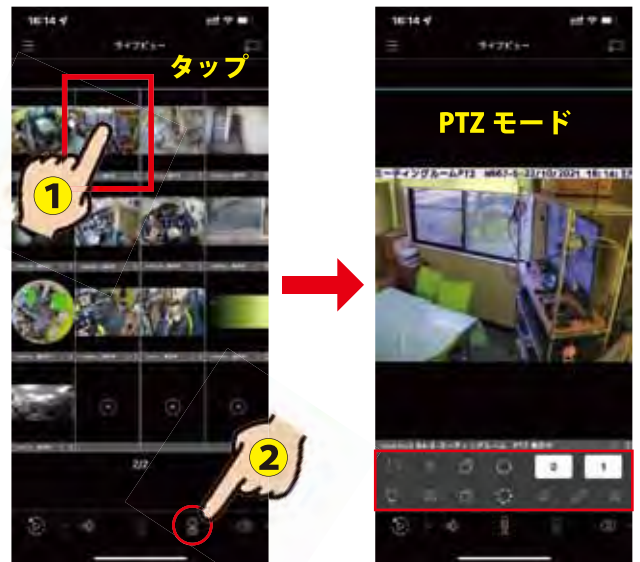


PTZ コントロール ON/OFF

PTZ カメラ (ICSD-H6?? シリーズ) 及び各 M シリーズ カメラではズーム/フォーカスの操作を行う事ができます。対応外のカメラでは動作しません。

- ① 分割画面の場合、PTZ 操作したいチャンネルをタップし 画像の周りに青枠を付けます。PTZ 操作の場合、PTZ コントロール ON/OFF アイコンをタップした段階で自動で 1 画面表示に切り替わります。
- ② PTZ コントロール ON/OFF アイコンをタップする事で、PTZ コントロールを表示させ、再びアイコンをタップする事で消す事ができます。

※アプリを通しての PTZ 操作は端末の種類や OS のバージョン、アプリバージョン、ネット環境や通信環境、通信速度に大きく影響され、遅延が発生したり操作が重くなったり伝わりが悪かったりする場合があります。



FishEYE コントロール ON/OFF

FishEYE カメラの**端末の表示パターンを変更**する事ができます。

- ① 分割画面の場合、FishEYE カメラの表示パターンを変更したいチャンネルをタップし 画像の周りに青枠を付けます。FishEYE カメラの表示パターンを変更する場合、FishEYE コントロール ON/OFF アイコンをタップした段階で自動で 1 画面表示に切り替わります。
- ② FishEYE コントロール ON/OFF アイコンをタップする事で、FishEYE コントロールを表示させ、再びアイコンをタップする事で消す事ができます。

※ここで出来る表示変更は、**端末内でのみの変更**です。カメラから出力される映像信号は変更されません。アプリで画像分析を行い、加工して表示しています。その為、360° FishEYE カメラ以外の一般的なカメラの場合でも実用的ではありませんが、表示変更を行う事が可能となります。





Display Modeをタップする。

端末での表示パターンを切り替える事が出来ます。

※カメラ自体の設定は変わりません。**端末内の画像処理で仮想的に作り出された画像**です。

- | | | |
|---|---|---|
|  FishEYE |  4 分割 |  4 画面 +360° |
|  360° パノラマ |  3 分割 +FishEYE |  6 画面 +360° |
|  180° パノラマ |  1 画面 +360° |  8 分割 +FishEYE |



FishEYE



360° パノラマ



180° パノラマ



4 分割



3 分割 +FishEYE



1 画面 +360°



4 分割 +360°



6 分割 +360°



1 画面 +360°



8 分割 +FishEYE



Alarm コントロール ON/OFF

アプリで行う「Alarm コントロール ON/OFF」とは事前に**設定された Alarm の ON/OFF のみ**で、Alarm に関するその他の詳細な設定は出来ません。

※事前に NVR 及びカメラの Alarm 設定と Alarm 出力設定が必要です。

NVR やカメラのモデルによっては Alarm 非対応の機種や Alarm 出力数が異なります。



NVR の Alarm ON/OFF



カメラの Alarm ON/OFF

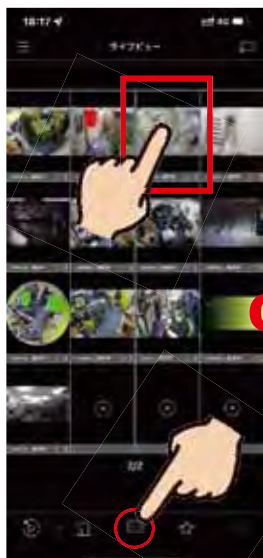
ストリーム切替

メインストリーム及びサブストリームの切替を行い、カスタムストリームでは各ストリームの設定を行う事が出来ます。設定後 **確認** をタップし内容を反映させて下さい。デフォルトでは**サブストリーム**が表示されます。

- ・ **サブストリーム**：動き（スピード）重視のモードで、カメラのサブストリーム設定の画質で表示されます。解像度もビットレートも低く設定されている為、ファイルサイズも小さく通信量もあまり使わないので、映像の動きも滑らかになります。 **画質は悪いが動きは良い**設定です。
- ・ **メインストリーム**：画質重視のモードで、カメラのメインストリーム設定の画質で表示されます。解像度もビットレートも高く設定されている為、ファイルサイズも大きく通信量も大量に使用します。端末の処理が追い付かず映像の動きが重くなったり映像が飛んだりします。 **画質は良いが動きは悪い**設定です。
- ・ **カスタムストリーム**：端末からカメラのメインストリームとサブストリーム、それぞれのストリーム設定の内容を変更する事が出来ます。

カスタムストリームでの設定内容は、カメラのビデオ設定に即反映されます。ご注意ください。

カスタムストリームで変更できる内容は、フレームサイズ（解像度）、フレームレート、ビットレート、i-フレーム間隔、スマートストリームの ON/OFF、画像圧縮（H.264/H.265）



or



サブストリーム



メインストリーム

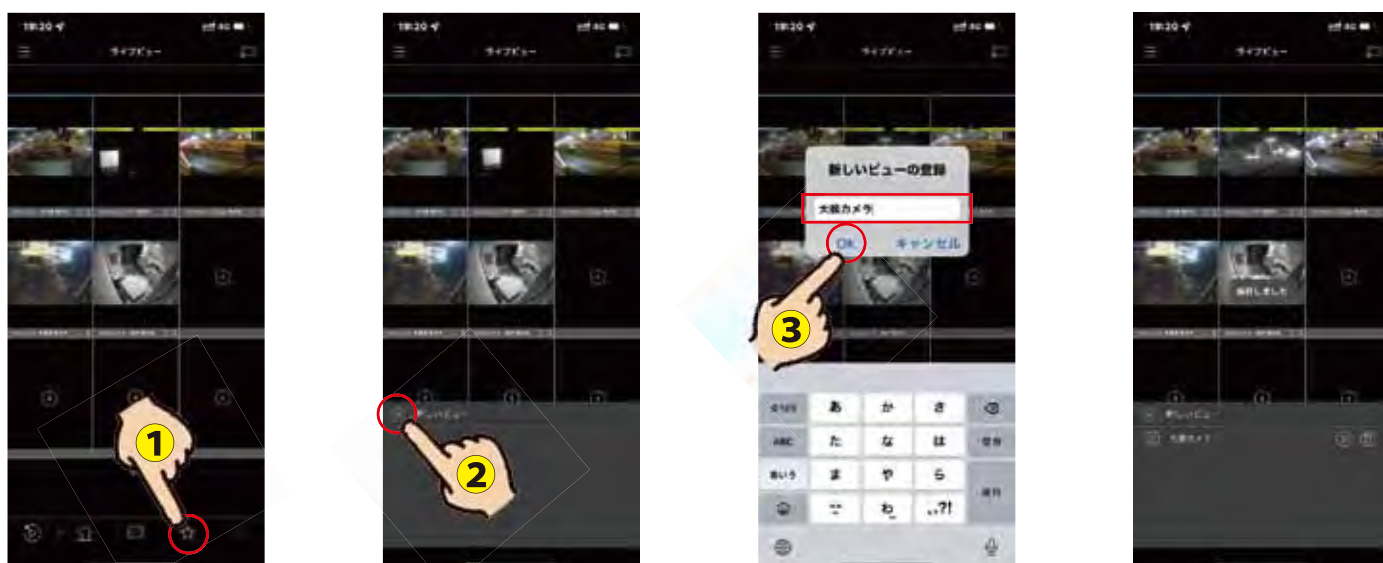


カスタムストリーム

★ お気に入り登録

お気に入りのデバイス (NVR やカメラ) をアプリに登録していると、素早く目的のデバイス呼び出す事が出来ます。

- ① お気に入りの登録したいデバイス呼び出し、表示順番、分割、ストリームを設定する
- ② ☆ お気に入りアイコンをタップし、**新しいビュー** をタップする
- ③ お気に入りの名称を入力し **OK** をタップする



【お気に入りの呼出し、変更、削除】

お気に入り呼び出す場合は、☆ お気に入りアイコンをタップし、目的のお気に入りリスト右側の▶再生アイコンをタップする。

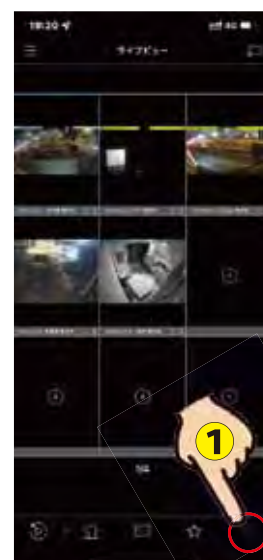
登録済みのお気に入りを変更する場合、変更内容を設定後📄保存アイコンをタップする。

登録済みのお気に入りを削除する場合、削除したいお気に入りリストを右にスワイプし削除をタップする



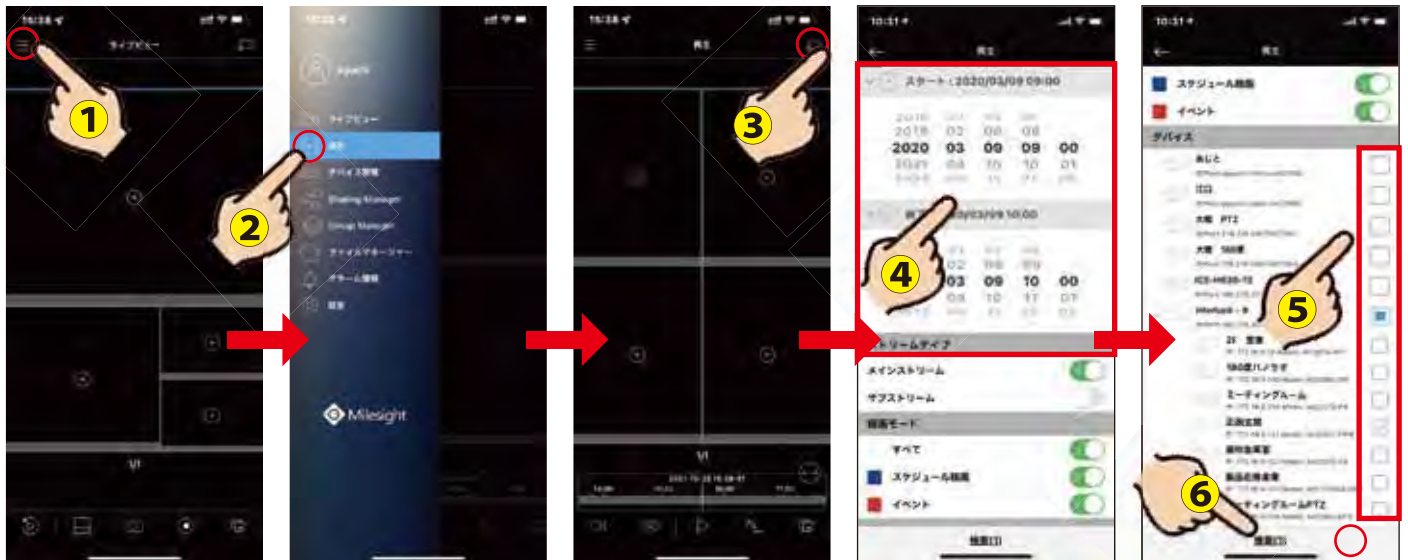
🔍 ズームコントロール ON/OFF

端末の画面上でピンチイン/ピンチアウトによりズームイン/アウトアウトを行います。デフォルトではONの状態になっています



再生

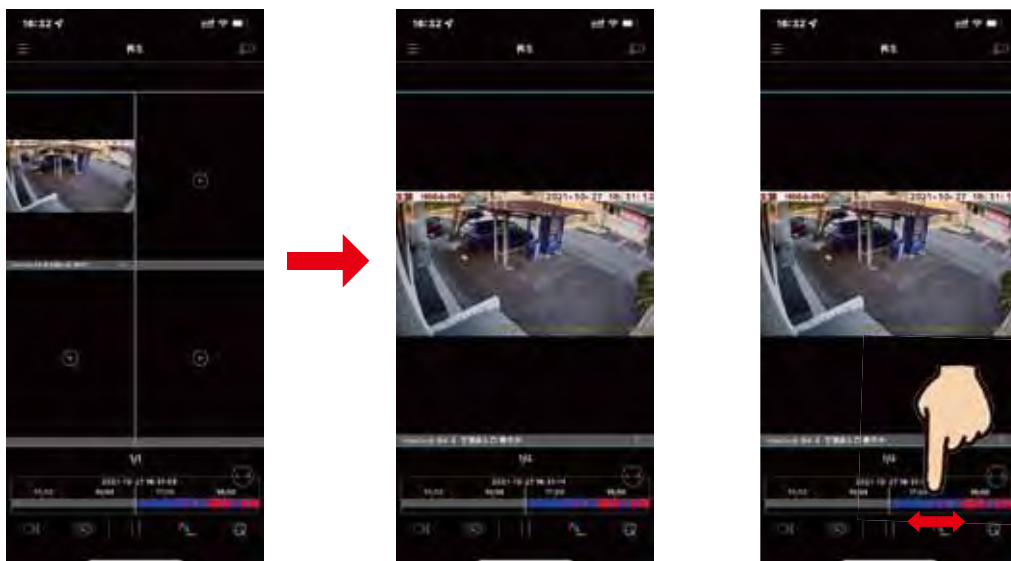
- ① 左上の アイコンをタップし再生をタップし、右上の カメラのアイコンをタップします。
- ② 再生ファイルの検索ページが開きますので、**スタート**と**終了**の位置をタップし、それぞれ**日付**と**時間**を設定します。
※再生する機関が短ければ短いほど、検索や再生を開始する時間は短縮されます。
- ③ ストリームタイプを**メインストリーム**または**サブストリーム**から選択します。
※録画設定をどちらのストリームに設定しているかによります。デフォルトでは一部の機種を除いて両ストリームが設定されています。
- ④ 録画モードは**すべて** **スケジュール録画** **イベント**から選択します。デフォルトでは**すべて**が選択されています。
※録画設定によります。デフォルトは通常録画（スケジュール録画）が設定されています。
- ⑤ 下へスクロールし**再生したいデバイス**を選択します。ここでもライブのデバイス選択同様、NVR をタップすると NVR に接続されているカメラを単独で設定する事が出来ます。
- ⑥ 最後に**検索**をタップします。



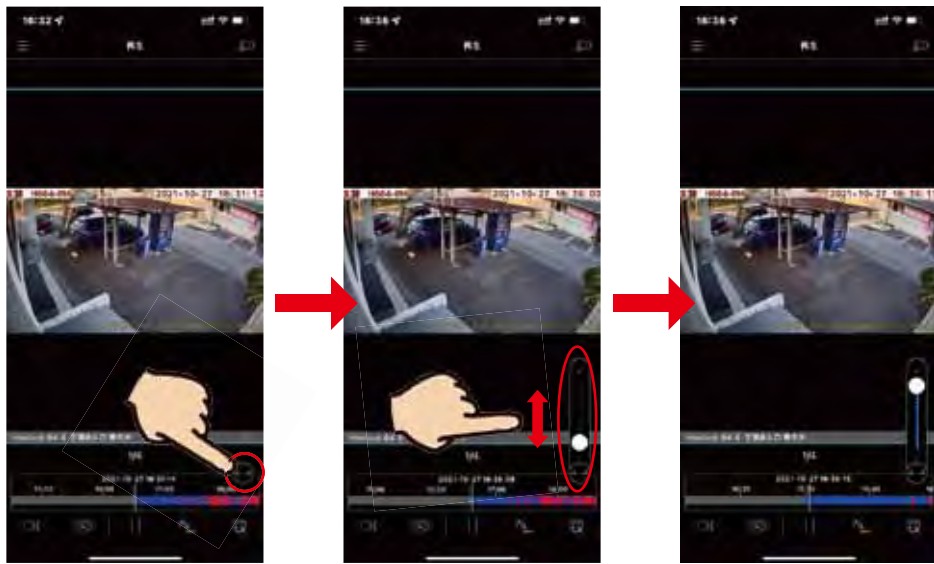
録画データの検索及び再生には、お互いのネット環境や通信速度、ストレージ容量やデータ容量、モバイル端末の種類やバージョンによって時間がかかります。また大量の通信量（パケット）を使用しますので、検索条件は最小限で、データ通信料定額データプランへの加入と Wi-Fi 環境でのご利用をお勧めします。

検索が終了すると再生が自動で開始されます。分割表示の場合、目的のチャンネルを**ダブルタップ**する事で1画面に切り替える事が出来ます。

下の青色のタイムバーを左右へスワイプする事で再生する時間帯を移動する事が出来、赤色の部分はイベント録画が設定されている事を表します。タイムバーのデフォルトのスケールは1時間ですが、右のアイコンをタップすると上下へ動くスライドスイッチが表示されますので、動かすことでタイムスケールを広げる事が出来ます。最大4分。下段のメニューを左右へスワイプしメニューページを切り替える事が出来ます。



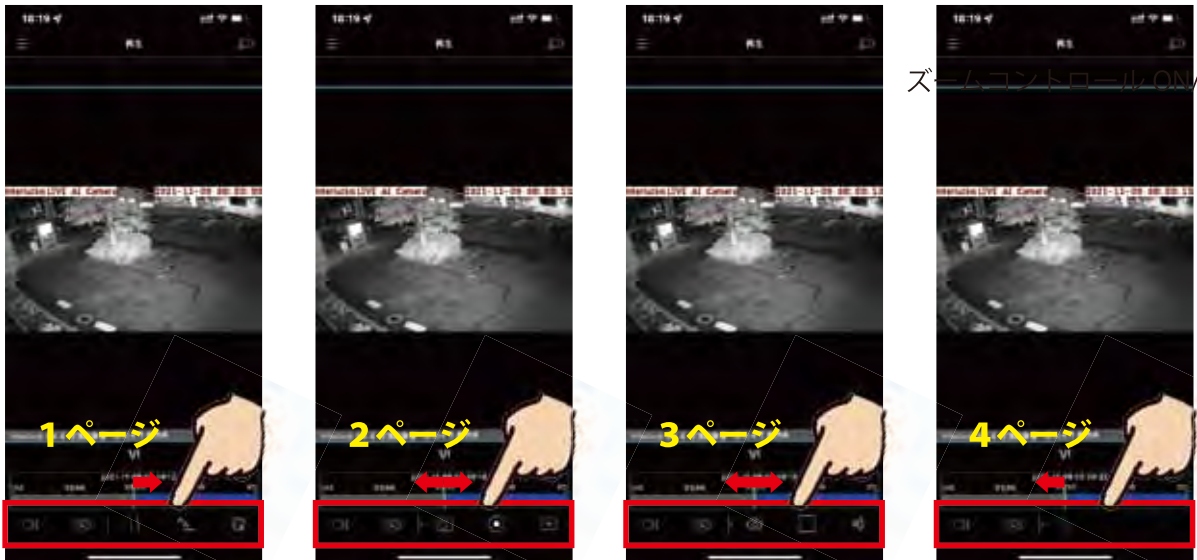
分割表示の場合、目的のチャンネルを**ダブルタップ**し1画面に切り替える















タイムスケールを広げる事が出来ます

下のメニューを左右にスワイプする事で再生中に様々な操作を行う事が出来ます。

再生中の様々な操作はネットワークの環境と速度が大きく関係し、端末に大きな負担をかける為、操作が重くなったり操作が集中すると途中で固まる場合がございます。落ち着いてゆっくり操作を行って下さい。



ズームコントロール ON/OFF

- | | | |
|--|--|---|
|  ライブビューに戻る (常に表示) |  スプリット再生 (常に表示) |  一時停止/再生 |
|  トランスコーティング |  再生の ON/OFF |  静止画保存 |
|  動画保存 |  再生速度 |  FishEYE コントロール ON/OFF |
|  分割切替 |  スピーカー ON/OFF |  ズームコントロール ON/OFF |

ライブビューに戻る (常に表示)

ライブビューに戻るアイコンをタップする事で、再生モードからライブビューに戻ります。このライブビューに戻るアイコンは、操作メニューのページが移動しても常に左端に表示されます。

スプリット再生 (常に表示)

スプリット再生のアイコンをタップする事で、再生中のチャンネルをスプリット再生する事が出来ます。スプリット再生とは、4分割の場合は約4時間スプリット、9分割の場合は約2時間スプリットで同時再生を行います。例えば0時から再生をスタートしスプリット再生を行った場合、ch1は0時から、ch2は4時から、ch3は8時から、ch4は12時から同時再生します。2時間スプリットではch1が0時から、ch2が2時から、ch3が4時から・・・ch9が16時から同時再生します。

※2時間又は4時間という時間は**おおよその時間**です。厳密で正確に時間割されるわけではありません。



一時停止／再生

一時停止／再生のアイコンをタップする事で、再生中の場合は一時停止し、一時停止中の場合は再生を再開します。ライブビューから再生モードに切り替わった段階で自動で再生は開始されます。

トランスコーティング

トランスコーティングのアイコンをタップする事で、再生中のビデオファイルのフレームサイズ、ビットレート、フレームレートを低下させ、軽いサイズに置き換え再生をスムーズに行う機能です。動き優先の設定になる為、画質は低下します。逆に向上させる事は出来ません。

再生速度

- ▼ フレームサイズ：704*576、352*288、320*176
- ▼ ビットレート：32k、64k、128k、256k、512k (k は kbps)
- ▼ フレームレート：Auto、1fps、2fps、3fps、4fps

再生の ON/OFF

再生 ON/OFF のアイコンをタップする事で、再生されている画像を一時的に消す事ができます。再びアイコンをタップする事で再生画像が表示されます。

※NVR 及びカメラとの接続が切れたわけではありません。この間も接続状態は継続される為、そのまま放置すると端末のバッテリーが消耗され通信量も増え、場合によっては端末が発熱する場合がありますのでご注意ください。



静止画保存

- ① 分割画面の場合、静止画を保存させたいチャンネルをタップし画像の周りに青枠を付けます。または静止画を保存させたいチャンネルをダブルタップし1画面表示に切り替えます。
- ② 静止画保存のアイコンをタップします。画像はアプリのファイルマネージャーに保存されます。ファイルマネージャーから端末の画像フォルダへ移動が必要となります。ファイルマネージャーの項目参照

動画保存

- ① 分割画面の場合、動画を保存させたいチャンネルをタップし画像の周りに青枠を付けます。または動画を保存させたいチャンネルをダブルタップし1画面表示に切り替えます。
- ② 動画保存のアイコンをタップします。動画はアプリのファイルマネージャーに保存されます。ファイルマネージャーから端末の画像フォルダへ移動が必要となります。ファイルマネージャーの項目参照

再生速度

再生速度のアイコンをタップする事で、再生中の速度を 1/4 倍、1/2 倍、1 倍、2 倍、4 倍と変更する事が出来る。



FishEYE コントロール ON/OFF

FishEYE カメラの**端末の表示パターンを変更**する事ができます。

- ① 分割画面の場合、FishEYE カメラの表示パターンを変更したいチャンネルをタップし 画像の周りに青枠を付けます。FishEYE カメラの表示パターンを変更する場合、FishEYE コントロール ON/OFF アイコンをタップした段階で自動で 1 画面表示に切り替わります。
- ② FishEYE コントロール ON/OFF アイコンをタップする事で、FishEYE コントロールを表示させ、再びアイコンをタップする事で消す事ができます。

※ここで行える表示変更は、**端末内でのみの変更**です。カメラから出力される映像信号は変更されません。アプリで画像分析を行い、加工して表示しています。

その為、FishEYE に対応していないカメラでも実用的ではありませんが、表示変更を行う事が可能となります。



分割切替

分割切替のアイコンをタップする事で、分割表示を 1 分割、4 分割、4 分割（オリジナル）に切り替える事が出来ます。



スピーカー ON/OFF

マイク内蔵またはマイクが接続されているカメラで音声録音されている場合、スピーカー ON/OFF のアイコンをタップする事で、端末から音声を流す事が出来ます。音量は端末のボリュームで捜査します。

※デフォルトは **OFF** の状態です。

- ① 分割画面の場合、音声を聞きたいチャンネルをタップし画像の周りに青枠を付けます。または音声を聞きたいチャンネルをダブルタップし 1 画面表示に切り替えます。
- ② スピーカー ON/OFF のアイコンをタップする事で、端末のスピーカー ON になり音声流れ出します。再びアイコンをタップする事でスピーカーは OFF になり、音声は止まります。



ズームコントロール ON/OFF

端末の画面上でピンチイン／ピンチアウトによりズームイン／アウトを行います。

デフォルトでは**ON**の状態になっています

ファイルマネージャー

ファイルマネージャーでは、ライブ及び再生でスナップショット（静止画）や動画保存した際のデータが一時的に保存されるフォルダーになり、ここからお使いの端末のアルバムへ写真や動画をエクスポートする事が出来ます。

左上の アイコンをタップし **ファイルマネージャー** をタップする。

- ① 写真または動画をタップする。1画面に表示され、右上のごみ箱アイコンをタップする事で
- ② 表示中の画像を削除する事が出来ます。そのファイルのみを削除する事が出来ます。



- ② 右上の 鉛筆アイコンをタップし目的のファイルを複数選択。下段のメニューをタップします。選択されたファイルをメールや SNS、SMM などの添付します。

※表示される App の種類はお使いの端末にインストールされている App により異なります。



メール、SNS、SMM へアップ

お使いの端末へ保存

- ③ アイコンをタップすると、一度に全のファイルを選択する事が出来ます。また複数ファイル選択後 ゴミ箱アイコンをタップすると、選択されたファイルを全て削除します。



全選択

SNS

ダウンロード

選択削除

- ・この製品は以下の**正規販売店が販売**したものです。
- ・ユーザー様（利用者様又は購入者様）は以下の枠に**販売店の詳細**（名称、住所、連絡先）が記載されている事をお確かめ頂き、もし無い場合は販売店へお申し出ください。
- ・機器の不具合、不良、故障及び取り扱いに関します。全ての**お問い合わせは、以下の販売店まで**お願いいたします。



おことわり：弊社（輸入卸元事業者）に直接ご連絡頂きますしても、販売店の持つ販売情報（顧客個人情報）は弊社では持ち合わせていない為、**お電話やメール等で製品の正式な管理者であるかの確認の取れない状態**で、取扱の説明や初期パスワードを含む情報は**一切お答えしておりません**。

本製品はセキュリティに関する機器で、場合によっては事件事故の有力な証拠物件にもかかわる可能性の高いものの為、**販売店経由でのお問い合わせ以外には一切対応しておりません**。ご理解ご了承ください。

輸入卸元事業者

有限会社インターラック

住所：〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3249-1

電話：0985-55-0752 FAX：0985-55-0815